

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	PA実習Ⅱ	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	音響・PAシステムの知識・技術を発展的に習得する				
授業概要	主にデジタルコンソールを使用し、楽器の生演奏のミキシング及びライブ収録についても習得する				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。現在では音楽制作チームSound Ravelにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、発表している。				

前 期		後 期	
1	デジタルコンソール概要	1	マトリックスアウトセットアップ
2	ネットワークオーディオ (Dante、MADI等のネットワークオーディオ)	2	FXパッチ
3	デジタルコンソールの初期設定	3	ディレイの実際応用
4	マトリックスアウト	4	リバーブのミックス
5	エフェクターパッチ	5	オフラインエディット(オフラインでの卓データエディット)
6	グラフィックインサートパッチ	6	オフラインエディット(実機での卓データエディット)
7	イコライザー (グラフィックイコライザー、パラメトリックイコライザー)	7	バーチャルサウンドチェック(ドラムのサウンドチェック)
8	ディレイ(ディレイのパラメーターと調整)	8	バーチャルサウンドチェック(ベースのサウンドチェック)
9	リバーブ(リバーブのタイプとパラメーターの調整)	9	バーチャルサウンドチェック(ギターのサウンドチェック)
10	コンプレッサー (コンプレッサー、ノイズゲートのパラメーターと調整)	10	イコライザー(パラメトリックイコライザー)
11	ライブ収録概要	11	コンプレッサー
12	アナログ分岐(回線のアナログ分岐)	12	DCA(DCAセットアップとミックス)
13	ネットワーク分岐(回線のネットワーク分岐)	13	カスタムフェーダーを組む
14	オーディエンスマイク	14	スピーカーの抵抗値とパラレル接続
15	回線チェック (FOH、モニター、録音、三者間での回線チェック)	15	PAシステムと電源
16	サウンドチェック (バーチャルサウンドを使用したFOF、モニター、録音、三者によるチェック)	16	アウトチェック システムプランの構築
17	ミックス及び収録 (バーチャルサウンドを使用したFOF、モニター、録音、三者によるミックス及び収録)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	PA実習	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	音響・PAシステムの基礎を習得する				
授業概要	アナログコンソール及びデジタルコンソールを併用しバンドセッティングやドラムセットの組み方など、PAの基礎を習得する				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。現在では音楽制作チームSound Ravelにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、発表している。				

前 期		後 期	
1	ケーブルの取扱	1	ドラムセット①(ドラムセットを組み立てる)
2	マイクスタンドの種類と取扱	2	ドラムセット②(ドラムセットのマイクアレンジ)
3	PAシステムのシグナルルーティング	3	ベースアンプを知る(ベースの音をマイクとDIでピックアップ)
4	マイクの種類と指向性	4	ギターアンプを知る(ギターアンプの音をマイクでピックアップ)
5	ダイレクトボックス	5	キーボード(キーボードの音をDIでピックアップ)
6	音の三要素	6	ステージモニター①(モニターの役割)
7	音場(ライブネスとは)	7	ステージモニター②(モニターの系統とモニター卓へのインプットのアタマ分け)
8	アナログコンソール	8	モニターのインサート(各系統へのイコライザーのインサートと役割)
9	マイクゲインの調整	9	モニターシステムのシグナルルーティング
10	トータルEQ	10	音場とライブネスのコントロール
11	チャンネルディバイダー	11	システムチューニング
12	パワーアンプ	12	モニターチューニング
13	スピーカー	13	エフェクター(ディレイ、リバーヴ)
14	デジタルコンソール	14	エフェクター(コンプレッサー)
15	マルチケーブル	15	マイクの取り扱い
16	エフェクター	16	AUX(AUX OUTのセッティング) マトリックスアウト(マトリックスアウトのセットアップ)
17	プレイバック		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	Pro Tools	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	ProToolsの様々な使用法を、スタジオ録音及びライブ録音の素材を用いたミックス作業から習得する				
授業概要	ProToolsの様々な使用法を、スタジオ録音及びライブ録音の素材を用いたミックス作業から習得する				
教科書	Pro Tools 12 徹底操作ガイド	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	ヘッドフォンを各自持参				
担当教員	竹内 貴彦	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業後、ラジオディレクターとして勤務。退社後、バンド活動と共にフリーランス音響エンジニアとして活動。現在、PA&レコーディングエンジニアとして様々なアーティストの現場で活躍中。				

前 期		後 期	
1	サブミックス	1	オーディオインポート
2	VCAグループ	2	セッションデーターインポート
3	chグループ	3	MIDIデーターインポート
4	フェーダーオートメーション	4	エラスティックオーディオ分析と同期
5	リバーブ(リバーブのタイプとパラメーター)	5	テンポ変更
6	リバーブ(リバーブのタイプとパラメーター)	6	エラスティプロパティー
7	ディレイ(ディレイのパラメータと調整)	7	フェーダーオートメーション
8	イコライザー(パラメトリックイコライザー)	8	VCAマスター
9	コンプレッサー(コンプレッサーの調整)	9	TCEによるテンポ同期
10	ドラムのミックス	10	プレイリストからのテイク決め
11	ベースの音決め	11	プラグイン
12	エレキギターの音決め	12	AAXとAUDIOSUITE
13	ボーカルトリートメント	13	バックアップコピー
14	エラスティック	14	トラックのトリートメント
15	エラスティックプロパティー	15	PTバージョンの変更
16	ライブネス(ライブネスとは)	16	マスターリング(WAVE LABIによるマスターリング) DDP書き出し
17	ライブミックス(ライブ音源のミックス)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	Pro Tools	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	Pro Toolsを使用し、デジタルレコーディングの基礎的な知識と技術、感性を習得する				
授業概要	Pro Toolsを使用し、デジタルレコーディングの基礎的な知識と技術、感性を習得する				
教科書	Pro Tools 12 徹底操作ガイド	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	ヘッドフォンを各自持参				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	DAW概要	1	クリップミュート(分割してミュート)
2	MAC概要	2	AUXトラック(サブマスター、エフェクトリターン)
3	エディット(エディットツール、エディットモード)	3	DCAマスタートラックを組む
4	ナッジ、グリッドモード	4	イコライザー(パラメトリックイコライザーとフィルター)
5	音の三要素	5	コンプレッサー(コンプレッサーの調整)
6	エンベロープ	6	テンポ検出(テンポ検出からグリッドを使う)
7	ミックスの進め方	7	マキシマイザー(トータルな音圧感)
8	デジタルオーディオ	8	VCAマスター
9	音量バランス	9	MIDIレコーディング
10	音質バランス	10	MIDIエディット
11	定位バランス	11	MIDIデータとオーディオ
12	ライブネスバランス	12	ショートカット(様々なショートカット)
13	バウンスフォーマット	13	バックアップ(様々なバックアップ)
14	イコライザー(イコライザーの役割とパラメーター)	14	バンドミックス
15	コンプレッサー(コンプレッサーの役割とパラメーター)	15	ライブミックス
16	ディレイ(ディレイのパラメーターと調整)	16	アコースティックミックス マスターリング
17	リバーブ(リバーブのタイプとパラメータの調整)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	レコーディング実習	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	実際のバンドレコーディング作業を通じて、より実践的なスタジオワークを学ぶ				
授業概要	実際のバンドレコーディング作業を通じて、より実践的なスタジオワークを学ぶ				
教科書	サウンドレコーディング技術概論	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	竹内 貴彦	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業後、ラジオディレクターとして勤務。退社後、バンド活動と共にフリーランス音響エンジニアとして活動。現在、PA&レコーディングエンジニアとして様々なアーティストの現場で活躍中。				

前 期		後 期	
1	ドラムのマイクアレンジ	1	ボーカル録音(ボーカルマイク、CUE BOX、譜面台スタンバイ)
2	ドラムのミキシング	2	オケ取り込み(CD、データ、携帯プレーヤー等からの音源取り込み)
3	ドラムの録音	3	モニターバランス(モニターバランス、リバーブバランスチェック)
4	ドラムのミックスバランス	4	ボーカルマイク(レベル、コンプインサート管理)
5	ベースの録音セッティング	5	歌詞カード、譜面へのロケート書込み
6	ベースの録音	6	ボーカル録音(ボーカル録音のパンチインアウト)
7	エレキギターの録音セッティング	7	アコースティックギター録音(アコースティックギター録音のマイクアレンジ、DIのスタンバイ)
8	エレキギターの録音	8	エレキギター(エレキギターのマイクアレンジ)
9	アコースティックギターの録音セッティング	9	ベースの録音(ベースのマイクアレンジ、DIのスタンバイ)
10	キーボードの録音セッティング	10	キーボードの録音(キーボードのDIのスタンバイ)
11	キーボードの録音	11	Pro Tools(プレイリスト管理)
12	モニターミックス(モニターバランスの調整)	12	Pro Tools(マーカー管理とロケート)
13	バンド録音のマイクアレンジ	13	Pro Tools(パンチインアウトとつなぎのエディット)
14	バンド録音の楽器配置	14	コーラス録音(コーラスダビング)
15	バンド編成の同時録音	15	タイミングエディット
16	各パートのオーバーダブ	16	ピッチエディット マスターバウンス
17	ボーカルのオーバーダブ		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	レコーディング実習	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	録音スタジオの仕組み、機材を学び、レコーディングの基礎になる能力を養う				
授業概要	録音スタジオの仕組み、機材を学び、レコーディングの基礎になる能力を養う				
教科書	サウンドレコーディング技術概論	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	エンジニアの役割	1	Pro Toolsでセッションファイルの作成
2	音の基本的性質	2	インプットのレベル管理
3	音の三要素(音量、音質、音程)	3	録音トラックのレベル管理
4	エンベロープ(音の三要素の時間的变化)	4	クリックトラックを作成、CUE BOX送り
5	モニター(モニタースピーカーの調整)	5	バンド録音のトラック作成し、楽器ごとのグループ
6	パッチベイ(マイクの結線)	6	ドラムのモニターグループ
7	マイク(マイクの種類、指向性)	7	スタジオの電源管理
8	楽器の知識(ドラムセット、ベース、ギター、キーボード等)	8	バンド録音のマイクアレンジ(ドラム、ベース、ギター、ボーカル)
9	Pro Tools(入出力パッチ)	9	マイクの回線をWALLPATCHへ結線
10	キューボックスへの送り	10	CUE BOX
11	トークバック(スタジオ内のコミュニケーション)	11	ボーカルマイクにポップガード
12	シグナルルーティング(レコーディングシステムの信号経路)	12	インプットチャンネルのアレンジ
13	ドラムのマイクセッティング	13	パッチベイ(インプット、インサート等のパッチ作業)
14	ドラムの録音(ドラムのゲイン調整)	14	インプット管理(ファンタム、フェイズ、ダイレクトアウト)
15	DI(ダイレクトボックス)	15	Pro Toolsパッチ(Pro Toolsの内部イン、アウトパッチ)
16	ベースの録音	16	回線チェック(インプット、Pro Tools、モニターレベル管理) コンプレッサー(コンプレッサーチェック)
17	ギターの録音		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明専攻 シラバス					
授業名	照明実習	学年	2年	単位数	8単位
授業目的	音楽ライブや各種イベントにおいて、照明及び舞台スタッフとして必要とされる、知識と技術の修得				
授業概要	定期ライブとライブ実習に向けた照明プランニング、データ作成、舞台進行。また、舞台スタッフとしてのスキルや知識を身につける				
教科書	なし	成績評価	出席率・授業態度・実習における理解度		
備考	スニーカー、黒い服装、メモその他				
担当教員	米倉 美知	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業後、札幌市内のライブハウススタッフとして照明スタッフ、PAエンジニアとして勤務。現在は、フリーランスの照明スタッフ、PAエンジニアとして活動、ライブイベントを中心に、様々なアーティストの現場で活躍中。				

前 期		後 期	
1	舞台照明仕込み直し及び機材メンテナンス	1	学園祭ライブ 照明仕込み
2	ライブ実習データ作成	2	学園祭ライブ 照明データ作成
3	新入生歓迎ライブ 照明計画	3	学園祭ライブ 本番・撤収
4	新入生歓迎ライブ 照明仕込み	4	舞台照明復帰
5	新入生歓迎ライブ 照明データ作成	5	ライブ実習データ作成
6	新入生歓迎ライブ 本番・撤収	6	ライブ実習データ作成
7	新入生歓迎ライブ 撤収・復帰	7	ライブ実習データ作成
8	舞台照明復帰	8	卒業ライブ 照明・舞台特殊効果計画
9	ライブ実習データ作成	9	卒業ライブ 照明・舞台特殊効果計画
10	ライブ実習データ作成	10	卒業ライブ 照明・舞台仕込み
11	ライブ実習データ作成	11	卒業ライブ 照明データ作成
12	学内オーディションイベント 照明計画	12	卒業ライブ 本番・撤収
13	学内オーディションイベント 照明・仕込み	13	舞台照明復帰
14	学内オーディションイベント 照明データ作成	14	ライブ実習データ作成
15	学内オーディションイベント 本番・撤収	15	1年定期ライブ 1月開催 本番
16	舞台照明復帰	16	舞台照明復帰
17	学園祭ライブ 照明計画		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明専攻 シラバス					
授業名	照明実習	学年	1年	単位数	8単位
授業目的	音楽ライブや各種イベントにおいて、照明及び舞台スタッフとして必要とされる、知識と技術の修得				
授業概要	音楽ライブ及びイベントにおける舞台照明、舞台セット、特殊効果の知識を高め、将来の職業に即した実践的授業を行う。				
教科書	なし	成績評価	出席率・授業態度・実習における理解度		
備考	スニーカー、黒い服装、メモその他				
担当教員	米倉 美知	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業後、札幌市内のライブハウススタッフとして照明スタッフ、PAエンジニアとして勤務。現在は、フリーランスの照明スタッフ、PAエンジニアとして活動、ライブイベントを中心に、様々なアーティストの現場で活躍中。				

前 期		後 期	
1	照明実習授業の安全管理 舞台上での事故例	1	1年生定期ライブ 照明・舞台復帰
2	照射光の方向性による区分	2	メディアホールにおけるライブ実習プランニング
3	メディアホールの照明回線及び仕込図の読み方	3	ライブ実習データ作成
4	2年生定期ライブの照明仕込みのサポート	4	メディアホールにおけるライブ実習プランニング
5	2年生定期ライブの照明データ作成作業を参考に、データ作成練習	5	ライブ実習データ作成
6	2年生定期ライブ 本番	6	学内ホール・劇場での仕込① スポットの種類の理解と吊り込み作業
7	2年生定期ライブ 撤収・復帰	7	学内ホール・劇場での仕込② 仮アタリとシューティング作業
8	照明の基礎(吊り込み作業)サスの重量バランスと吊り込み台数	8	学内ホール・劇場での仕込③ トラブルシューティングとパッチ、データ入力
9	照明の基礎(吊り込み作業) スポットの吊り込み位置と介錯棒の使い方	9	2年生 卒業ライブのデータでオペレート練習
10	照明の基礎(フロア照明と回線の引き回し)導線の確保、安全管理	10	2年生 卒業ライブ
11	照明の基礎(色光) スポットの吊り込み位置と光の色・方向性	11	1月 1年生定期ライブ照明・舞台プランニング
12	9月 1年生定期ライブ照明プランニング	12	1月 1年生定期ライブ照明回線、舞台図作成
13	9月 1年生定期ライブ照明プランニング	13	1月 2年生定期ライブ照明・舞台仕込・データ作成
14	9月 1年生定期ライブ照明回線作成	14	1月 2年生定期ライブ照明・舞台仕込・データ作成
15	9月 1年生定期ライブ照明仕込・データ作成	15	1年定期ライブ 本番・撤収
16	9月 1年生定期ライブ照明仕込・データ作成	16	1年生定期ライブ 照明・舞台復帰 反省会から次回ライブに向けての問題点・改善点まとめ
17	1年生定期ライブ 本番・撤収		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	PA実習	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	音響・PAシステムの知識・技術を発展的に習得する				
授業概要	主にデジタルコンソールを使用し、楽器の生演奏のミキシング及びライブ収録についても習得する				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	大和田 淳司	実務経験	○		
実務内容	大手メジャーレーベル会社のプロモーターとして、アーティストのテレビ・ラジオ局への楽曲宣伝、イベントの企画や、ライブへ同行するなどのプロモーションを精力的に活動。と同時に、音響PAエンジニアとしても有名レコード店のインスタライブの担当や、ネット番組を企画など、多彩な才能を発揮し、音楽ビジネスの最前線で活躍中。				

前 期		後 期	
1	デジタルコンソール概要	1	マトリックスアウトセットアップ
2	ネットワークオーディオ (Dante、MADI等のネットワークオーディオ)	2	FXパッチ
3	デジタルコンソールの初期設定	3	ディレイの実際応用
4	マトリックスアウト	4	リバーブのミックス
5	エフェクターパッチ	5	オフラインエディット(オフラインでの卓データエディット)
6	グラフィックインサートパッチ	6	オフラインエディット(実機での卓データエディット)
7	イコライザー (グラフィックイコライザー、パラメトリックイコライザー)	7	バーチャルサウンドチェック(ドラムのサウンドチェック)
8	ディレイ(ディレイのパラメーターと調整)	8	バーチャルサウンドチェック(ベースのサウンドチェック)
9	リバーブ(リバーブのタイプとパラメーターの調整)	9	バーチャルサウンドチェック(ギターのサウンドチェック)
10	コンプレッサー (コンプレッサー、ノイズゲートのパラメーターと調整)	10	イコライザー(パラメトリックイコライザー)
11	ライブ収録概要	11	コンプレッサー
12	アナログ分岐(回線のアナログ分岐)	12	DCA(DCAセットアップとミックス)
13	ネットワーク分岐(回線のネットワーク分岐)	13	カスタムフェーダーを組む
14	オーディエンスマイク	14	スピーカーの抵抗値とパラレル接続
15	回線チェック (FOH、モニター、録音、三者間での回線チェック)	15	PAシステムと電源
16	サウンドチェック (バーチャルサウンドを使用したFOF、モニター、録音、三者によるチェック)	16	アウトチェック システムプランの構築
17	ミックス及び収録 (バーチャルサウンドを使用したFOF、モニター、録音、三者によるミックス及び収録)		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	業界マネジメント	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	業界の仕組みとマネージメントの方法の基礎を学ぶ				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	大和田 淳司	実務経験	○		
実務内容	大手メジャーレーベル会社のプロモーターとして、アーティストのテレビ・ラジオ局への楽曲宣伝、イベントの企画や、ライブへ同行するなどのプロモーションを精力的に活動。と同時に、音響PAエンジニアとしても有名レコード店のインストアライブの担当や、ネット番組を企画など、多彩な才能を発揮し、音楽ビジネスの最前線で活躍中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容の説明。	1	人に伝える② マインドセット 人に伝わる方法と自己成長のマインドを学ぶ。
2	目標設定について 業界就職に向けて、どのようなスキルが必要になるか、現状の課題を洗い出し、夢に向けた目標を再設定。	2	WEBマガジン運営⑧ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
3	WEBマガジン運営① WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	3	インタビュー② 人の魅力の引き出し方、会話の引き出し方を学ぶ。
4	ライティング WEBマガジンコンテンツのライタースキルを向上させるためライティングを学ぶ。	4	WEBマガジン運営⑨ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
5	マインドセット 経験や先入観から形成される試行や思い込みを取り払う。	5	集客 様々なイベントへの集客方法を学ぶ
6	WEBマガジン運営② WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	6	WEBマガジン運営⑩ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
7	イベント企画 イベントの企画。人に印象に残るイベントを理解し、自ら考えるようになる。	7	アーティストマネジメント③ アーティストマネジメントの基礎のまとめ
8	WEBマガジン運営③ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	8	コミュニケーション/目標達成① コミュニケーション能力を高め、目標達成に必要な考え方を学ぶ
9	アイデアの生み出し方 アイデアを生み出す方法と生かし方を学ぶ	9	WEBマガジン運営⑪ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
10	WEBマガジン運営④ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	10	イベント企画の立案 イベント企画を様々な角度から考えられるようにする。
11	人に伝える① 表現方法を変えて、人に伝える方法を学ぶ	11	WEBマガジン運営⑫ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
12	WEBマガジン運営⑤ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	12	企画力向上の7つのポイント 宿題である企画を発表。イベント企画の発表と今までのおさらいと企画力向上のポイントを伝える。
13	アーティストマネジメント① アーティストマネジメントの基礎	13	WEBマガジン運営⑬ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
14	WEBマガジン運営⑥ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	14	コミュニケーション/目標達成② コミュニケーション能力を高め、目標達成に必要な考え方を学ぶ
15	インタビュー① 人の魅力の引き出し方、会話の引き出し方を学ぶ。	15	WEBマガジン運営⑭ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
16	WEBマガジン運営⑦ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	16	授業の振り返り、おさらい アーティストプロモーション総括
17	アーティストマネジメント② アーティストマネジメントの基礎のまとめ		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	業界マネジメントⅡ	学年	2年	単位数	2単位
授業目的	年間スタッフ学習をしてきた学生に、今一度「音楽」に立ち返りさまざまな楽曲を知り、その成り立ちやその構造の基礎を知る				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション この時間の授業内容と、スタッフ系専攻になぜ音楽を知る必要があるのかを説明	1	実習の予備知識 ループやオーディオについての説明と使い方
2	音と音楽、楽曲の説明	2	実習の予備知識 ループのkey調整
3	楽曲とスケールの関係性を知る 今昔の楽曲をスケールに当てはめて聞く	3	実習④ バンド楽曲を用い楽曲を制作
4	楽曲を用いて実際に打ち込んでみる Studio Oneの使い方説明 起ち上げから音が出るまで	4	実習⑤ バンド楽曲を用い楽曲を制作
5	楽曲を用いて実際に打ち込んでみる Studio Oneの使い方説明 力方法の選択と練習	入 5	実習⑥ バンド楽曲を用い楽曲を制作
6	譜面についての知識 基本的な読み方の説明	6	実習⑦ バンド楽曲を用い楽曲を制作
7	実習① ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	7	予備日
8	実習② ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	8	直近の楽曲 ジャー系やネット上の楽曲の分析①
9	実習③ ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	9	直近の楽曲 ジャー系やネット上の楽曲の分析①
10	予備日	10	楽曲の歴史を知る メジャー系の楽曲から遡りクラシック音楽まで辿る
11	制作した楽曲を用いて音価やリズムの説明	11	日本の音楽、他国の音楽 楽の知識や使用楽器などをネットを使用し説明
12	譜割りや拍子の知識 4/4とは何かを音価、リズムを用いて説明し、単純拍子を知る	12	日本の音楽、他国の音楽 エスニック楽曲など様々な国の楽曲をネットを使用し説明
13	アレンジの知識 メロディーから導くことの説明	13	現代に戻りボーカロイド曲とボーカロイドの使われ方
14	アレンジの知識 ピアノ、鍵盤楽器の特性	14	ボーカロイドの説明と実習①
15	アレンジの知識 ギター、ベース、弦楽器の特性	15	ボーカロイドの説明と実習②
16	アレンジの知識 ドラム、打楽器の特性	16	ボーカロイドの説明と実習③、今後に活かせることのディスカッション
17	アレンジの知識 リズム楽器とリズムアレンジについての基本		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 音響学科2年 シラバス					
授業名	映像編集	学年	2	単位数	4
授業目的	[通年] 動画編集				
授業概要	[前期] 1. Premire基本操作				
	[前期] 2. Premire応用技術				
	[前期] 3. 絵コンテ制作基礎				
	[前期] 4. 課題制作①				
	[後期] 1. AEの基本操作				
	[後期] 2. 課題制作②				
	[後期] 3. 課題制作③				
	[後期] 4. 進級課題制作				
教科書		成績評価	● 課題提出データのクオリティ ● 授業態度・出席率		
備考					
担当教員	神林 慎治	実務経験	○		
実務内容	3DCGデザイナー、アニメーションコンポジッター、映像ディレクター、専門学校教員				

前 期		後 期	
1	Premire基本操作	1	AEの基本操作
2	Premire基本操作	2	AEの基本操作
3	Premire基本操作	3	AEの基本操作
4	Premire基本操作	4	AEの基本操作
5	Premire応用技術（動画フォーマット概要）	5	課題制作②
6	Premire応用技術（グレーディング概要①）	6	課題制作②
7	Premire応用技術（グレーディング概要②）	7	課題制作②
8	Premire応用技術（youtube動画概要）	8	課題制作②
9	Premire応用技術（動画配信技術概要）	9	課題制作③
10	Premire応用技術（音響活用概要）	10	課題制作③
11	Premire応用技術（トランジションとテロップ概要）	11	課題制作③
12	絵コンテ制作の基本（絵コンテテンプレートの作成）	12	課題制作③
13	絵コンテ制作の基本（絵コンテの書き方）	13	課題制作③
14	課題制作①（Live編集）	14	課題制作③
15	課題制作①（Live編集）	15	進級制作
16	課題制作①（Live編集）	16	進級制作
17	課題制作①（Live編集）		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	ライブ実習	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	音楽ライブ及びイベントにおける舞台照明、舞台セット、特殊効果をライブ形式で実践的に学ぶ				
授業概要	実際のイベント現場で行われるライブを想定し、実践力を身につける セクションの連携をとりつつ、一つ一つのオペレーションを詰めていく イレギュラー・複雑化する演出に対し、準備をしっかりと行う				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。14歳の時にPCを使用した作曲に目覚め、以降、バンドやDJ等、様々な音楽活動を行い、現在では音楽制作チームSound Ravelにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、				

前 期		後 期	
1	ライブ実習の進め方(ワークフローの確立、実践)	1	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
2	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	2	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの4セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
3	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	3	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの5セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
4	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	4	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの6セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
5	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	5	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの7セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
6	新入生歓迎ライブ前 ライブ実習	6	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの8セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
7	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	7	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの9セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
8	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	8	2年生卒業ライブ前 ライブ実習
9	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	9	2年生卒業ライブ
10	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	10	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの12セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
11	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	11	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの13セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
12	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	12	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの14セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
13	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	13	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの15セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
14	2年生定期ライブ前 ライブ実習	14	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの16セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
15	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	15	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの17セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
16	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	16	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの18セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
17	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	ライブ実習	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	音楽ライブ及びイベントにおける舞台照明、舞台セット、特殊効果をライブ形式で実践的に学ぶ				
授業概要	実際のイベント現場で行われるライブを想定し、実践力を身につける セクションの連携をとりつつ、一つ一つのオペレーションを詰めていく イレギュラー・複雑化する演出に対し、準備をしっかりと行う				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	ライブ実習の進め方(ワークフローの確立、実践)	1	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
2	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	2	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの4セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
3	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	3	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの5セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
4	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	4	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの6セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
5	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	5	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの7セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
6	新入生歓迎ライブ前 ライブ実習	6	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの8セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
7	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	7	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの9セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
8	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	8	2年生卒業ライブ前 ライブ実習
9	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	9	2年生卒業ライブ
10	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	10	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの12セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
11	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	11	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの13セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
12	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	12	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの14セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
13	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	13	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの15セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
14	2年生定期ライブ前 ライブ実習	14	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの16セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
15	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	15	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの17セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
16	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り	16	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの18セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り
17	「在校生出演者」に対応した照明プラン/PAは(ハウス・モニター・ステージの3セクションに分かれ、それぞれの作業の流れを身に付ける。舞台監督は持ち回り		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	イベント概論	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	音楽業界全般の知識を身に付けて、ライブ企画、運営を実践する				
授業概要	音楽業界全般の知識を身に付けて、ライブ企画、運営を実践する				
教科書	なし	成績評価	授業態度・出席率		
備考	特になし				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 自己紹介 授業内容について	1	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
2	音楽業界を知る、ライブによるPA・照明の研究	2	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
3	音楽業界を知る、レコードレーベル、音楽事務所(プロダクション)の違い、など	3	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
4	音楽業界を知る、イベンターの仕事とは、ライブハウスとホールの違い	4	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
5	音楽業界を知る、プロダクションの働き	5	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
6	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	6	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
7	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	7	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
8	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	8	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
9	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	9	校外での、企画ライブに向けた準備
10	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	10	校外での、企画ライブに向けた準備
11	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	11	校外での、企画ライブに向けた準備
12	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	12	校外での、企画ライブに向けた準備
13	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	13	校外での、企画ライブに向けた準備
14	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	14	校外での、企画ライブに向けた準備
15	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	15	校外での、企画ライブに向けた準備
16	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	16	校外での、企画ライブに向けた準備
17	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	イベント概論Ⅱ	学年	2年	単位数	2単位
授業目的	音楽業界全般の知識を身に付けて、ライブ企画、運営を実践する				
授業概要	音楽業界全般の知識を身に付けて、ライブ企画、運営を実践する				
教科書	なし	成績評価	授業態度・出席率		
備考	特になし				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容について	1	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
2	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	2	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
3	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	3	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
4	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	4	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
5	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	5	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
6	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	6	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
7	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	7	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
8	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	8	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間
9	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	9	校外での、企画ライブに向けた準備
10	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	10	校外での、企画ライブに向けた準備
11	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	11	校外での、企画ライブに向けた準備
12	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	12	校外での、企画ライブに向けた準備
13	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	13	校外での、企画ライブに向けた準備
14	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	14	校外での、企画ライブに向けた準備
15	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	15	校外での、企画ライブに向けた準備
16	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間	16	校外での、企画ライブに向けた準備
17	ライブの運営方法 定期ライブに向けた、運営企画、作成時間		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	楽曲制作	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	DAWの基本操作、作曲、編曲について学ぶ				
授業概要	DAWソフト「Studio one」を利用し、DAWの基礎知識及び作曲・編曲に関わる知識を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。14歳の時にPCを使用した作曲に目覚め、以降、バンドやDJ等、様々な音楽活動を行い、現在では音楽制作チームSound Raveにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、				

前 期		後 期	
1	DAWとは？DTMとは？ データ転送によるコーライティングやオンラインミックスなどの例を引き合いに出しながら、DAWで何かできるか、なぜ学ぶのかを実感させる。	1	サンプラーの知識① サンプラー（サンプリング素材を取り込んで、インストゥルメントとして使用する）
2	DAWソフトウェアの基本操作① I/Fについて/オーディオ形成について/ソングの新規作成	2	サンプラーの知識② ドラムパッド（16ブロックのドラムサンプラーにオーディオサンプルを読み込み、オリジナルのドラムキットを作成する）
3	DAWソフトウェアの基本操作② 基本的な画面構成、ピアノロールの操作	3	ミックスの応用① マルチアウトバスグループ・VCAグループ
4	DAWソフトウェアの基本操作③ インストゥルメントの読み込み、ミキサーの操作	4	ミックスの応用② サイドチェイン（コンプレッサーの応用テクニックで、EDMを中心に普及したサイドチェインを用いた音の処理を学ぶ）
5	基礎エディット① リズム打ち込み	5	ミックスの基礎③ オートメーションコントロール（2MIXのカラオケに、歌を録音して乗せる場合の音量コントロールについて解説）
6	基礎エディット② ベース、コードの楽器打ち込み	6	ミックスの基礎④ リファレンス音源を用いたミックス調整/ファイルの書き出し
7	基礎エディット③ オーディオの録音	7	MIDIについて CCやMIDIメッセージなどの使用を学んでおく。
8	基礎エディット④ オーバーダビング・イベントの編集	8	音楽の基本構成① 題材曲を聴きながら、この楽曲はどういう楽器編成、トラック構成、エフェクト処理で作られているかを解析。
9	基礎エディット⑤ まとめ 基礎を応用し、リズムの打ち込み、楽器のマルチトラック録音で1フレーズデモを作成。	9	音楽の基本構成② 様々な楽器がどの周波数帯域を主に担当しているかというものをスペクトラムアナライザーを見ながら視覚的に理解する。
10	サウンドメイキング① シンセサイザーでの音作り①	10	制作実習① DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
11	サウンドメイキング② シンセサイザーでの音作り②	11	制作実習② DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
12	サウンドメイキング③ オーディオタイムの編集、タイムストレッチ	12	制作実習③ DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
13	サウンドメイキング④ まとめ	13	制作実習④ DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
14	エフェクターの知識① 内蔵プラグインを用いて、変化の分かりやすい空間系のエフェクト（リバーブ、ディレイ）について学ぶ。	14	制作実習⑤ ミックス～トラックダウンをおこなう。簡易的にマスタリングをおこない、発表①
15	エフェクターの知識② ダイナミクス系プラグイン（EQ、コンプレッサー）について学ぶ	15	制作実習⑥ ミックス～トラックダウンをおこなう。簡易的にマスタリングをおこない、発表②
16	エフェクターの知識③ モジュレーション系（コーラス、フランジャー）について学ぶ	16	1年間のまとめ、振り返り。 または制作実習の進行状況をみて調節、または補習。
17	エフェクターの知識④ エフェクトの応用。生楽器や声を録音する際のエフェクトなど。		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	音源編集	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	DAWの基本操作、作曲、編曲について学ぶ				
授業概要	DAWソフト「Studio one」を利用し、DAWの基礎知識及び作曲・編曲に関わる知識を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。14歳の時にPCを使用した作曲に目覚め、以降、バンドやDJ等、様々な音楽活動を行い、現在では音楽制作チームSound Raveにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、				

前 期		後 期	
1	DAWとは？DTMとは？ データ転送によるコーライティングやオンラインミックスなどの例を引き合いに出しながら、DAWで何かできるか、なぜ学ぶのかを実感させる。	1	サンプラーの知識① サンプラー（サンプリング素材を取り込んで、インストゥルメントとして使用する）
2	DAWソフトウェアの基本操作① I/Fについて/オーディオ形成について/ソングの新規作成	2	サンプラーの知識② ドラムパッド（16ブロックのドラムサンプラーにオーディオサンプルを読み込み、オリジナルのドラムキットを作成する）
3	DAWソフトウェアの基本操作② 基本的な画面構成、ピアノロールの操作	3	ミックスの応用① マルチアウトバスグループ・VCAグループ
4	DAWソフトウェアの基本操作③ インストゥルメントの読み込み、ミキサーの操作	4	ミックスの応用② サイドチェイン（コンプレッサーの応用テクニックで、EDMを中心に普及したサイドチェインを用いた音の処理を学ぶ）
5	基礎エディット① リズム打ち込み	5	ミックスの基礎③ オートメーションコントロール（2MIXのカラオケに、歌を録音して乗せる場合の音量コントロールについて解説）
6	基礎エディット② ベース、コードの楽器打ち込み	6	ミックスの基礎④ リファレンス音源を用いたミックス調整/ファイルの書き出し
7	基礎エディット③ オーディオの録音	7	MIDIについて CCやMIDIメッセージなどの使用を学んでおく。
8	基礎エディット④ オーバーダビング・イベントの編集	8	音楽の基本構成① 題材曲を聴きながら、この楽曲はどういう楽器編成、トラック構成、エフェクト処理で作られているかを解析。
9	基礎エディット⑤ まとめ 基礎を応用し、リズムの打ち込み、楽器のマルチトラック録音で1フレーズデモを作成。	9	音楽の基本構成② 様々な楽器がどの周波数帯域を主に担当しているかというものをスペクトラムアナライザーを見ながら視覚的に理解する。
10	サウンドメイキング① シンセサイザーでの音作り①	10	制作実習① DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
11	サウンドメイキング② シンセサイザーでの音作り②	11	制作実習② DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
12	サウンドメイキング③ オーディオタイムの編集、タイムストレッチ	12	制作実習③ DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
13	サウンドメイキング④ まとめ	13	制作実習④ DAWと音楽の関係性がある程度わかったところで、実際の音楽制作をおこなう。
14	エフェクターの知識① 内蔵プラグインを用いて、変化の分かりやすい空間系のエフェクト（リバーブ、ディレイ）について学ぶ。	14	制作実習⑤ ミックス〜トラックダウンをおこなう。簡易的にマスタリングをおこない、発表①
15	エフェクターの知識② ダイナミクス系プラグイン（EQ、コンプレッサー）について学ぶ	15	制作実習⑥ ミックス〜トラックダウンをおこなう。簡易的にマスタリングをおこない、発表②
16	エフェクターの知識③ モジュレーション系（コーラス、フランジャー）について学ぶ	16	1年間のまとめ、振り返り。 または制作実習の進行状況をみて調節、または補習。
17	エフェクターの知識④ エフェクトの応用。生楽器や声を録音する際のエフェクトなど。		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 専攻 シラバス					
授業名	バンドアンサンブル	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	バンド演奏の経験と演奏の基礎能力を習得する				
授業概要	演奏楽曲を決め、それぞれのパートを担当。ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのバンド形式での演奏の基礎を習得				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席数		
備考	楽器、使用機材、ノートと五線ノート、ヘッドフォンまたはイヤフォンを各自用意				
担当教員	稲毛 雄太	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 各パート決めとその場でできる楽曲の演奏	1	洋楽演奏:英語の楽曲を体験(1)
2	楽曲の聴き方とコピー① 各フレーズとリズムを聞く	2	洋楽演奏:英語の楽曲を体験(2)
3	楽曲の聴き方とコピー② 構成についての説明	3	洋楽演奏:英語の楽曲を体験(3)
4	アンサンブルの基礎① 周囲の音と全体のテンポについて	4	ビートについて学ぶ③ 16ビートと16分音符について
5	アンサンブルの基礎② 全体を聞き、テンポを合わせる練習	5	ビートについて学ぶ③ 16ビートのアクセントとノリについて
6	アンサンブルの基礎③ マスターテンポに合わせる練習	6	ビートについて学ぶ③ 16ビートの楽曲を練習、演奏
7	ビートについて学ぶ① 8ビートと8分音符について	7	楽曲構成:構成の基礎を学ぶ② イントロ、間奏、ソロについて
8	ビートについて学ぶ② アクセントの練習と体を使った練習	8	楽曲構成:構成に変化をつけるアイデア(1)
9	総合演奏:8ビートの楽曲アンサンブル練習(1)	9	楽曲構成:構成に変化をつけるアイデア(2)
10	総合演奏:8ビートの楽曲アンサンブル練習(2)	10	シンコペーションの基礎(1)
11	楽曲の構成:楽曲構成の基礎を学ぶ。	11	シンコペーションの基礎(2)
12	音色について:ニュアンスを各セクションのタッチの違い (1)	12	メロディーとコーラスの関係を学ぶ
13	音色について:ニュアンスを各セクションのタッチの違い (2)	13	メロディーとコーラスの実践
14	メロディについて:メロディーラインを考える(1)	14	総合演奏:アンサンブル練習(1)
15	メロディについて:メロディーラインを考える(2)	15	総合演奏:アンサンブル練習(2)
16	メロディについて:各セクションのメロディーの重要性を認識する	16	総合演奏:アンサンブル練習(3)
17	総合演奏:8ビートの楽曲アンサンブル練習(3)	17	
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 専攻 シラバス					
授業名	バンドアンサンブル	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	バンド形式の演奏を基礎を元にさらに発展させ、自立した演奏や各自の表現ができるよう演奏力の向上を目指す				
授業概要	演奏楽曲を決め、バンド形式での演奏の応用力を習得し社会の中で音楽を発表できる能力をつける				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席数		
備考	楽器、使用機材、ノートと五線ノート、ヘッドフォンまたはイヤフォンを各自用意				
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	総合演奏;1年次の復習演奏①	1	世界の名曲① 新旧さまざまな名曲と呼ばれるな楽曲を紹介
2	総合演奏;1年次の復習演奏②	2	世界の名曲② 世界の各地域の楽曲をバンドで再現する
3	コードと採譜① コードについての知識	3	世界の名曲③ いろいろなジャンルのリズムアレンジ研究
4	コードと採譜② コードのサウンドと実践	4	パフォーマンス① ライブ演奏でのパフォーマンス
5	コードと採譜③ 他パート譜面及びスコアの作成	5	パフォーマンス② セトリストについて考える
6	メロディーと譜割の研究	6	パフォーマンス③ バンド及び演奏活動のしかた
7	アレンジ① リズムアレンジの制作の仕方と実践	7	オリジナル楽曲の演奏法①
8	J POP研究① 歌詞研究(1)	8	オリジナル楽曲の演奏法②
9	J POP研究② 歌詞の内容を解釈	9	メロディーとフレージング処理(1) 各フレーズの演奏の仕方考える
10	J POP研究③ 歌詞と演奏の結び付け	10	メロディーとフレージング処理(2) 各フレーズの演奏の仕方考える
11	アーティキュレーション① 理解と応用	11	アレンジ② ラスアレンジ
12	アーティキュレーション② 色々な音価での演奏	12	アレンジ③ ターアレンジ
13	各セクション同士のアンサンブル① 2つのセクションのみでの演奏	13	アレンジ④ キーボードアレンジ
14	各セクション同士のアンサンブル② さまざまなセクションの演奏	14	アレンジ⑤ オブリガード
15	楽曲の解釈① ら考えてみることを習得	15	総合演奏① 演奏発表
16	楽曲解釈② バンド全体での楽曲解釈	16	総合演奏② 演奏発表
17	楽曲解釈③ アレンジを変更する	17	
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル専攻 シラバス						
授業名	ヴォーカルレッスン		学年	1年	単位数	4単位
授業目的	歌うための声づくりの基礎技術の習得をする					
授業概要	ベーシックと課題曲、自由曲に取り組み、歌唱の実践を学ぶ					
教科書	なし		成績評価	取り組み姿勢、出席率、歌唱内容		
備考	ノートと筆記用具持参					
担当教員	青山 浩之		実務経験	○		
実務内容	ヒロ青山名義でのモノマネ歌手として、これまでに日テレ「ものまねバトル大賞」、日テレ「99プラス」、フジ「ウチくる」、TBS「激突ものまねウォーズ」などの番組に出演。					

前 期		後 期	
1	オリエンテーション: 自己紹介、初回質問受付、授業展開説明	1	オリエンテーション: ミニライブ
2	声についての基礎知識: 声の仕組み、呼吸法の基礎	2	基礎知識復習: 前期基礎トレーニングの確認と応用
3	ウォーミングアップ方法、楽曲の聴き方、コピー方法	3	音程練習: ピッチトレーニング(1)
4	ディレクション: 課題曲練習(1)	4	音程練習: ピッチトレーニング(2)
5	ディレクション: 課題曲練習(2)	5	音程練習: ピッチトレーニング(3)
6	リズムトレーニング: 洋楽自由曲練習(1)	6	譜割りの理解とメロディー(1)
7	リズムトレーニング: 洋楽自由曲練習(2)	7	譜割りの理解とメロディー(2)
8	作詞: メロディーを歌詞の関係性、作詞の基礎	8	オリジナル楽曲の作詞講座(1) フルコーラスの歌詞を制作する
9	ディレクション: 課題曲と自由曲レッスン(1)	9	オリジナル楽曲の作詞講座(2) フルコーラスの歌詞を制作する
10	ディレクション: 課題曲と自由曲レッスン(2)	10	オリジナル楽曲の作詞講座(3) 歌詞まとめ
11	ディレクション: 課題曲と自由曲レッスン(3)	11	発音と滑舌、声の表現法(1)
12	ディレクション: 課題曲と自由曲レッスン(4)	12	発音と滑舌、声の表現法(2)
13	楽曲まとめ学習: ミニライブ	13	ビブラートについての知識、実践
14	基礎総合演習: 基礎トレーニングの解説と実践(1)	14	楽曲まとめ: ミニライブ
15	基礎総合演習: 基礎トレーニングの解説と実践(2)	15	表現総合演習: 課題曲(1)
16	作詞: 作詞の実践(1) 詞を研究し詩と詞の違いを学習する①	16	表現総合演習: 課題曲(2)
17	作詞: 作詞の実践(2) 歌詞を研究し詩と詞の違いを学習する②	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル専攻 シラバス					
授業名	ヴォーカルレッスン	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	歌うための声づくりの基礎技術の習得をする				
授業概要	ベーシックと課題曲、自由曲に取り組み、歌唱の実践を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率、歌唱内容		
備考	ノートと筆記用具持参				
担当教員	青山 浩之	実務経験	○		
実務内容	ヒロ青山名義でのモノマネ歌手として、これまでに日テレ「ものまねバトル大賞」、日テレ「99プラス」、フジ「ウチくる」、TBS「激突ものまねウォーズ」などの番組に出演。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション、歌詞の発音練習(1)	1	ヴォーカルテクニック:リップトリルとリズムトレーニング(1)
2	歌詞の発音練習(2)	2	ヴォーカルテクニック:リップトリルとリズムトレーニング(2)
3	地声とファルセットについての違い	3	頭部、胸部の使い方(1)
4	地声とファルセットの切り替え練習	4	頭部、胸部の使い方(2)
5	リップトリルの練習	5	表現力向上:発音の違いによる楽曲の表現力(1)
6	発声に鼻腔を意識する練習	6	表現力向上:発音の違いによる楽曲の表現力(2)
7	歌詞講座応用(1)	7	楽曲構成:ファルセットとミックスボイスのパワートレーニング(1)
8	歌詞講座応用(2)	8	楽曲構成:ファルセットとミックスボイスのパワートレーニング(2)
9	地声からファルセットへの移行、ミックスボイス	9	楽曲構成:ファルセットとミックスボイスのパワートレーニング(3)
10	アウフタクトについての知識と歌い出しの練習	10	総合作詞講座(1)
11	話しレベルの発声とその歌い方	11	総合作詞講座(2)
12	課題曲と自由曲のヴォーカルディレクション(1)	12	総合作詞講座(3)
13	課題曲と自由曲のヴォーカルディレクション(2)	13	ヴォーカルテクニック ア・カペラの歌唱練習とその表現方法(1)
14	課題曲と自由曲のヴォーカルディレクション(3)	14	ヴォーカルテクニック ア・カペラの歌唱練習とその表現方法(2)
15	課題曲と自由曲のヴォーカルディレクション(4)	15	総括ミニライブ(1)
16	前期総括ミニライブ(1)	16	総括ミニライブ(2)
17	前期総括ミニライブ(2)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ギター専攻 シラバス					
授業名	ギターレッスン	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	ギター奏法の基礎を学ぶ				
授業概要	基礎から見つめ直し、今後の応用テクニックに耐えうる無理のない奏法を身に付ける				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率、試験等		
備考	五線ノートと筆記用具持参				
担当教員	稲毛 雄太	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション: 自己紹介、初回質問受付、授業展開説明	1	リズムトレーニング(1): 8ビート、16ビートアプローチ
2	各音符・休符の意識リズム譜の熟読及び音読、クリック練習の習慣付け。身体の一部で拍をとりながらの演奏(1)	2	リズムトレーニング(2): 音価の区分
3	各音符・休符の意識リズム譜の熟読及び音読、クリック練習の習慣付け。身体の一部で拍をとりながらの演奏(2)	3	リズムトレーニング(3): チェンジアップ
4	フォーム: 自然体で弾く基礎音量の底上げ	4	リズムトレーニング(4): チェンジアップ
5	フォーム: 掌から肘までの各筋肉動作把握	5	フォーム: ダイナミクスの体感と区分(1)
6	フォーム: 各指の分離、動作配分や置き方、動き方	6	フォーム: ダイナミクスの体感と区分(2)
7	フォーム: 技術改善指導(1)	7	音符と和音: 4和音の自由構築(1)
8	フォーム: 技術改善指導(2)	8	音符と和音: 楽曲アプローチ増減(2)
9	音符と和音: 度数と音階(1)	9	音符と和音: ダイアトニックコードプラスアルファでの進行作成(3)
10	音符と和音: メジャースケール(2)	10	音符と和音: 譜面の書き方を採譜(4)
11	音符と和音: コードの仕組み(3)	11	音符と和音: 譜面の書き方を採譜(5)
12	音符と和音: 5度の動き(4)	12	イヤートレーニングと音作り(1)
13	音符と和音: 7度の追加(5)	13	イヤートレーニングと音作り(2)
14	音符と和音: 6度の機能(6)	14	アーティキュレーション(1)個人別演奏スタイル指導
15	音符と和音: 代理コード(7)	15	アーティキュレーション(2)個人別演奏スタイル指導
16	イヤートレーニング(1)単音、インターバル区分	16	アーティキュレーション(3)個人別演奏スタイル指導
17	イヤートレーニング(2)コピーカの質向上	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ギター専攻 シラバス					
授業名	ギターレッスン	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	ギターのテクニックと音楽的演奏法を学び、ギターでの仕事の仕方など実践も学ぶ				
授業概要	ベーシックと課題曲、自由曲に取り組み、歌唱の実践を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率、歌唱内容		
備考	ノートと筆記用具持参				
担当教員	稲毛 雄太	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	リズムトレーニング:楽曲に対するアプローチの引き出し増加	1	基礎力の再復習
2	リズムトレーニング:前ノリと後ノリ	2	オルタードテンション
3	リズムトレーニング:タイム感の習得	3	得意分野のアプローチ向上(1)
4	リズムトレーニング:演奏時の押しと引き(1)	4	得意分野のアプローチ向上(2)
5	リズムトレーニング:演奏時の押しと引き(2)	5	得意分野のアプローチ向上(3)
6	音符と和音:アナライズによる各ケーデンス、コード手法	6	楽曲やフレーズ作成の習慣化(1)
7	音符と和音:テンションノートの把握	7	楽曲やフレーズ作成の習慣化(2)
8	音符と和音:ジャンルの拡大	8	楽曲やフレーズ作成の習慣化(3)
9	音符と和音:アコーステック対応	9	コード譜、リズム譜の初見(1)
10	音符と和音:アドリブや普段の手癖の分析、応用及び改善	10	コード譜、リズム譜の初見(2)
11	音符と和音:作曲とアレンジ	11	スランプ、苦手意識に対する克服(1)
12	音符と和音:ドミナント時のアプローチ	12	スランプ、苦手意識に対する克服(2)
13	イヤートレーニング:和音と他楽器の聴音	13	モチベーション低下時のフォローアップ
14	イヤートレーニング:演奏スタイルの把握と確立	14	卒業後の流れ、仕事の取り方、作り方(1)
15	イヤートレーニング:練習や作曲問わず簡易的なレコーディング	15	卒業後の流れ、仕事の取り方、作り方(2)
16	イヤートレーニング:アーティキュレーション(1)	16	卒業後の流れ、仕事の取り方、作り方(3)
17	イヤートレーニング:アーティキュレーション(2)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ベース専攻 シラバス					
授業名	ベースレッスン	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	エレクトリックベース演奏の基礎技術の習得				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率		
備考	ノートと筆記用具持参				
担当教員	斉藤彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション:バンドにおけるベースの役割と基本的なケア	1	運指トレーニング:各音階別ストレッチ(1)
2	音だしの基礎:アンプの使用方法和音作り(1)	2	運指トレーニング:各音階別ストレッチ(2)
3	音だしの基礎:アンプの使用方法和音作り(2)	3	譜面読みトレーニング:付点音符と付点休符(1)
4	フォーム:弦を押さえる際の基本フォーム(1)	4	譜面読みトレーニング:付点音符と付点休符(2)
5	フォーム:弦を押さえる際の基本フォーム(2)	5	譜面読みトレーニング:初見での演奏レベル(1)
6	フォーム:指弾きとピック弾きの基本フォーム(1)	6	譜面読みトレーニング:初見での演奏レベル(2)
7	フォーム:指弾きとピック弾きの基本フォーム(2)	7	譜面読みトレーニング:初見での演奏レベル(3)
8	フォーム:クロマチックで全指を使うストレッチ(1)	8	運指トレーニング:ハノンポジション違い2種類(1)
9	フォーム:クロマチックで全指を使うストレッチ(2)	9	運指トレーニング:ハノンポジション違い2種類(2)
10	譜面読み:フレットと音名をリンクさせる(1)	10	運指トレーニング:ハノンポジション違い2種類(3)
11	譜面読み:フレットと音名をリンクさせる(2)	11	運指トレーニング:チェンジアップと運指の組み合わせ(1)
12	譜面読みトレーニング:全音符～16分音符(1)	12	運指トレーニング:チェンジアップと運指の組み合わせ(2)
13	譜面読みトレーニング:全音符～16分音符(2)	13	運指トレーニング:チェンジアップと運指の組み合わせ(3)
14	運指トレーニング:ハノンex-1を指とピックで(1)	14	運指トレーニング:アクセントと強調(1)
15	運指トレーニング:ハノンex-1を指とピックで(2)	15	運指トレーニング:アクセントと強調(2)
16	運指トレーニング:ハノンex-1を指とピックで(3)	16	運指トレーニング:アクセントと強調(3)
17	運指トレーニング:ハノンex-1を指とピックで(4)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ベース専攻 シラバス					
授業名	ベースレッスン	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	ギターのテクニックと音楽的演奏法を学び、ギターでの仕事の仕方など実践も学ぶ				
授業概要	ベーシックと課題曲、自由曲に取り組み、歌唱の実践を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率、歌唱内容		
備考	ノートと筆記用具持参				
担当教員	斉藤彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	譜面読みトレーニング: 初見演奏レベル(1)	1	スラップ ①: ゴーストをメインとした16分フレーズ(1)
2	譜面読みトレーニング: 初見演奏レベル(2)	2	スラップ ①: ゴーストをメインとした16分フレーズ(2)
3	理論とテクニック: メジャーとマイナーのトライアド(1)	3	スラップ ②: 各音階でフレーズを作る(1)
4	理論とテクニック: メジャーとマイナーのトライアド(2)	4	スラップ ②: 各音階でフレーズを作る(2)
5	理論とテクニック: スケール内の各度数と役割(1)	5	課題曲練習: スラップ使用曲(1)
6	理論とテクニック: スケール内の各度数と役割(2)	6	課題曲練習: スラップ使用曲(2)
7	ピック弾きトレーニング(1)	7	様々なテクニック: 弦飛びフレーズ(1)
8	ピック弾きトレーニング(2)	8	様々なテクニック: 弦飛びフレーズ(2)
9	ピック弾きトレーニング(3)	9	課題曲練習: 弦飛びフレーズ使用曲(1)
10	ピック弾きトレーニング(4)	10	課題曲練習: 弦飛びフレーズ使用曲(2)
11	課題曲練習: ピック弾き(1)	11	様々なテクニック: ハンマリング、プリング、スライド
12	課題曲練習: ピック弾き(2)	12	ハンマリング、プリング、スライドを応用した課題曲練習
13	課題曲練習: ピック弾き(3)	13	様々なテクニック: ダブルストップ、和音弾き
14	理論とテクニック: ペンタトニックスケール/ディミニッシュとオーギュメント(1)	14	ダブルストップ、和音弾きを応用した課題曲練習
15	理論とテクニック: ペンタトニックスケール/ディミニッシュとオーギュメント(2)	15	様々なジャンルのベースラインに触れる(1)
16	理論とテクニック: 簡単な進行上でのソロ演奏(1)	16	様々なジャンルのベースラインに触れる(2)
17	理論とテクニック: 簡単な進行上でのソロ演奏(1)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ドラム専攻 シラバス					
授業名	ドラムレッスン	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	ドラム演奏上の技術の確認と習得				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率		
備考	スティック持参、必要に応じ譜面を配布				
担当教員	大山淳	実務経験	○		
実務内容	数多くのミュージシャンやシンガーと共演、コンサートやレコーディングに関わる。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)では札幌交響楽団とも共演。伝説的ブラスロックバンド「Soul Power」のサポート・ドラマーとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	グリップとフォーム: ジャーマン、フレンチ、アメリカン、レディポジション	1	ストローク(シングル&ダブル)
2	基本ストローク(ショット/リバウンドの習得)	2	アクセント&チェンジアップ
3	モーラー的ストローク(ウィップモーション)	3	ルーディメンツの導入
4	フォーム: 指-手首-肘-肩の連動	4	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(1)
5	シングル、ダブルストローク(1つ、2つ打ち)	5	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(2)
6	アクセントとレベルコントロール	6	スネアソロ曲の導入(1)
7	チェンジアップとルーディメンツの導入	7	スネアソロ曲の導入(2)
8	フォームとセッティング	8	シングルペダル-ダブルキック
9	ヒールアップ奏法の確認	9	ツインペダル-連打/コンビネーション
10	足リードの読譜(シンコペーションブック)	10	左足ゴースト-4way(四肢の独立)
11	ツインペダルの基本	11	手足のコンビネーション(1)
12	アクセントを発展させたコーディネーション	12	手足のコンビネーション(2)
13	左足のゴーストモーション	13	リニアフレーズの導入
14	4WAY(四肢の独立)	14	Rock/Funk/シャッフル(1)
15	ROCK(8beat)	15	Rock/Funk/シャッフル(2)
16	シャッフル(Bounce)	16	Rock/Funk/シャッフル(3)
17	Funk(16beat)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ドラム専攻 シラバス					
授業名	ドラムレッスン	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	ドラム演奏上の技術の定着と発展				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、出席率		
備考	スティック持参、必要に応じ譜面を配布				
担当教員	大山淳	実務経験	○		
実務内容	数多くのミュージシャンやシンガーと共演、コンサートやレコーディングに関わる。PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)では札幌交響楽団とも共演。伝説的ブラスロックバンド「Soul Power」のサポート・ドラマーとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	グリップとフォームの基本再確認	1	ストローク(シングル&ダブル)基本再確認練習
2	基本ストローク再確認	2	アクセント&チェンジアップ基本練習
3	モーラー的ストローク(ウィップモーション)	3	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(1)
4	フォームチェック:指-手首-肘-肩の連動	4	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(2)
5	シングル、ダブルストローク応用練習	5	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(3)
6	アクセントとレベルコントロール練習	6	ダブルストローク・パラディドル・フラム・ドラッグ(4)
7	チェンジアップとルーディメンツ(応用)	7	スネアソロ曲の練習と応用
8	フォームとセッティング再確認	8	シングルペダル-ダブルキック
9	ヒールアップ奏法の確認	9	ツインペダル-連打/コンビネーション
10	シンコペーション応用	10	左足ゴースト-4way(四肢の独立)
11	ツインペダルの応用	11	手足の応用コンビネーション(1)
12	アクセントを発展させたコーディネーション	12	手足の応用コンビネーション(2)
13	左足のゴーストモーション	13	リニアフレーズ練習
14	4WAY(四肢の独立)	14	Rock/Funk/シャッフル課題曲(1)
15	ROCK(8beat)課題曲練習	15	Rock/Funk/シャッフル課題曲(2)
16	シャッフル(Bounce)課題曲練習	16	Rock/Funk/シャッフル課題曲(3)
17	Funk(16beat)課題曲練習	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	商業音楽制作	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	商業と広告と音楽に関する基礎知識を学び、映像音楽の土台を作る				
授業概要	企画や広告を知り、実際に企画を立てながら映像に音楽を付けていく				
教科書	なし	成績評価	試験実施・その他(制作物の提出、クオリティ、出席率等)		
備考					
担当教員	AND(佐々木恒平)	実務経験	○		
実務内容	2006年より作曲活動。近年の主な業務内容は、国内外の企業TVCM、Webなどの広告音楽やサウンドロゴなどの作曲、サウンドディレクションを担当。またブライダルや、ヘアショーやメイクアップショー、アート作家の個展や、サインージなどに幅広く楽曲提供や、サウンドディレクションを担当。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション(授業内容説明、自己紹介等)	1	楽曲研究(評価される音楽の優位点を理解する)
2	思考の言語化(1)	2	広告音楽制作:映像使用と楽曲制作(1)
3	広告音楽(必要となるスキル)	3	広告音楽のスキル:企画演習(1)
4	思考の言語化(2)文章化の能力	4	広告音楽のスキル:企画演習(2)
5	思考の言語化(3)文章化の能力	5	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(1)
6	広告音楽のスキル:計画書とは	6	広告音楽制作:映像使用と楽曲制作(2)
7	広告音楽のスキル:計画書作成練習	7	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(2)
8	広告音楽のスキル:サウンドロゴ制作演習(1)	8	広告音楽制作:映像使用と楽曲制作(3)
9	思考の言語化(4)文章化の能力	9	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(3)
10	客観性を養う:客観性とは、を考える(1)	10	広告音楽制作:映像使用と楽曲制作(4)
11	広告音楽のスキル:サウンドロゴ制作演習(2)	11	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(4)
12	客観性を養う:文章化する(2)	12	広告音楽制作:映像使用と楽曲制作(5)
13	広告音楽のスキル:サウンドロゴ制作演習(3)	13	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(5)
14	ツアー計画:計画書作成練習(3)	14	楽曲制作理解:メロディーとアレンジの仕組み(6)
15	客観性を養う:文章化する(3)	15	プレゼンテーション:映像を使用した楽曲制作発表(1)
16	広告音楽のスキル:サウンドロゴ制作演習(4)	16	プレゼンテーション:映像を使用した楽曲制作発表(2)
17	広告音楽のスキル:サウンドロゴ制作演習(5)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	商業音楽制作	学年	2年	単位数	4単位
授業目的	映像と映像音楽の理解を深め、イベントやライブの音楽などより幅広い知識や応用力をつける				
授業概要	実際にプロジェクト企画を立ち上げ映像音楽や広告を考える				
教科書	なし	成績評価	試験実施・その他(制作物の提出、クオリティ、出席率等)		
備考					
担当教員	AND(佐々木恒平)	実務経験	○		
実務内容	2006年より作曲活動。近年の主な業務内容は、国内外の企業TVCM、Webなどの広告音楽やサウンドロゴなどの作曲、サウンドディレクションを担当。またブライダルや、ヘアショーやメイクアップショー、アート作家の個展や、サインージュなどに幅広く楽曲提供や、サウンドディレクションを担当。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション:授業の内容説明	1	応用楽曲研究(1)
2	音楽業界で必須な能力である『思考の言語化』	2	サウンド企画制作応用実習(1)
3	広告音楽とは何か、また、どのようなスキルが必要か。	3	実践ライブ企画実習(1)
4	メロディーの作り方やアレンジの仕組みを理解してもらう。	4	実践ライブ企画実習(2)
5	自分の考えを文章化、発表する。(1)	5	応用楽曲研究(2)
6	ツアーがどのような流れで業界が動いているかを学ぶ。	6	サウンド企画制作応用実習(2)
7	ツアーについて学習する。	7	プレゼンテーション・文章表現(1)
8	サウンドロゴ制作(1)	8	サウンド企画制作応用実習(3)
9	自分の考えを文章化、発表する。(2)	9	プレゼンテーション・文章表現(2)
10	楽曲制作研究(1)	10	サウンド企画制作応用実習(4)
11	サウンドロゴ制作(2)	11	応用楽曲研究(3)
12	楽曲制作研究(2)	12	サウンド企画制作応用実習(5)
13	サウンドロゴ制作(3)	13	応用楽曲研究(4)
14	ライブ計画制作実習	14	応用楽曲研究(5)
15	楽曲制作研究(3)	15	サウンド企画制作応用実習(6)
16	サウンドロゴ制作(4)	16	制作楽曲プレゼンテーション
17	サウンドロゴ制作(5)	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名	リズムレッスン	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	演奏に於けるリズムとは何を指すかを知り、リズムの奥深さを感じ、今後の演奏に活かす基礎作り				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席率		
備考	各楽器、スティック持参、必要に応じ譜面を配布				
担当教員	稲毛 雄太	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	リリースタイムの応用① 切る力をつけるトレーニング
2	音符と音価についての基礎 既成楽曲を使用	2	リリースタイムの応用② 切り方をコントロールするトレーニング
3	各楽器の発音の仕組みやその違いについて	3	アップビートとダウンビートについての知識① 知識と導入
4	リリース及びディケイとリリースタイムについての知識	4	アップビートとダウンビートについての知識② ビートを意識しながらの演奏トレーニング
5	カウントと4分音符を理解する カウントに合わせて4分音符を鳴らす	5	アクセントとビートの関係性を知る ビートの成り立ちについての知識
6	8分音符中心の楽曲の説明と演奏	6	ビートを理解したうえでのアンサンブル
7	「合わせること」の基礎習得① 全員の音に合わせる	7	アウフタクトの知識 譜面を使いアウフタクトを目で見る
8	「合わせること」の基礎習得② 特定の人に合わせるトレーニング	8	シンコペーションについての知識①
9	「合わせること」の基礎習得③ (1)クリックを使って音を出す練習	9	シンコペーションについての知識② シンコペーションの楽曲を演奏し意識する
10	クリックを使って音を出す練習③ (2)テンポを落とした楽曲をイメージするトレーニング	10	シンコペーションの応用 場所、ノートレングス、リリースタイムを変化させ演奏し、どのように変化するかを体感する
11	クリックを使って音を出す練習③ (3)テンポを落とした楽曲をイメージするトレーニング	11	ゴーストノート、ブラッシング① 予備知識
12	クリックを使って音を出す練習③ (4)テンポを落とした状態でアーティキレーションを変化させるトレーニング	12	ゴーストノート、ブラッシング② 楽曲に取り入れ、フレーズの比較をする
13	クリックを使って音を出す練習③ (5)徐々にテンポを上げていくトレーニング	13	ピッチとリズムについて① ボーカルと楽器のピッチについての知識
14	BPMの早い楽曲、遅い楽曲の比較、聞き比べ	14	ピッチとリズムについて② ヴォーカルのしゃくりとフォールにリズムを感じるトレーニング
15	音のスピードについての実習① 発音にスピードがあることを知る	15	ピッチとリズムについて③ チョーキングとスライド
16	音のスピードについての実習② 様々な音のスピードで演奏する	16	まとめと総合演奏
17	前期のおさらいと総合演奏	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス						
授業名	総合実習		学年	2年	単位数	2単位
授業目的	各授業やレッスンにおいての課題曲を全員で知り、より深く掘り下げて演奏する一方で、違う視点から課題曲を考える					
授業概要	コピー、練習で全員で課題曲の取り組みをする					
教科書	なし		成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席率		
備考	各楽器、スティック持参、必要に応じ譜面を配布					
担当教員	稲毛 雄太		実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。					

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	各授業の課題曲の紹介④
2	各授業の課題曲の紹介①	2	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める
3	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める	3	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる
4	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる	4	各パート練習とアンサンブル①
5	各パート練習とアンサンブル①	5	各パート練習とアンサンブル②
6	各パート練習とアンサンブル②	6	各授業の課題曲の紹介⑤
7	各授業の課題曲の紹介②	7	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める
8	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める	8	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる
9	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる	9	各パート練習とアンサンブル①
10	各パート練習とアンサンブル①	10	各パート練習とアンサンブル②
11	各パート練習とアンサンブル②	11	各授業の課題曲の紹介⑥
12	各授業の課題曲の紹介③	12	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める
13	楽曲、アーティストについてのレクチャー アーティストの紹介と説明などをし、楽曲に対する理解をより深める	13	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる
14	楽曲のコピーと譜読み それぞれのパートの耳コピーと実際の楽譜の情報を見比べる	14	各パート練習とアンサンブル①
15	各パート練習とアンサンブル①	15	各パート練習とアンサンブル②
16	各パート練習とアンサンブル②	16	まとめ、1年間の楽曲演奏
17	前期楽曲を演奏	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&REC、PA&照明専攻 シラバス					
授業名	総合演習	学年	2年	単位数	2単位
授業目的	楽器の演奏法を学びつつ、楽曲の演奏を出来るようにし、スタッフワークに活かす				
授業概要	楽器の演奏法を学び、楽曲の演奏を行う。				
教科書	なし	成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席率		
備考	メモをとる、返事を必ず。必要に応じ譜面を配布				
担当教員	斉藤彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	前期までの内容を踏まえ各パートの選定
2	ギターの仕組みと、演奏法について学ぶ	2	課題曲の採譜 シンプルな構成の楽曲
3	ギターの演奏法を学び、実際に練習 ギター練習①	3	採譜した譜面を元に各パートの練習①
4	ギターの演奏法を学び、実際に練習 ギター練習②	4	採譜した譜面を元に各パートの練習②
5	ギターの演奏法を学び、実際に練習 ギター練習③	5	採譜した譜面を元に各パートの練習③
6	ベースの仕組みと演奏法について学ぶ	6	アンサンブル①
7	ベースの演奏法を学び、実際に練習 ベース練習①	7	アンサンブル②
8	ベースの演奏法を学び、実際に練習 ベース練習②	8	アンサンブル③
9	ベースの演奏法を学び、実際に練習 ベース練習③	9	課題曲の採譜 J-popの楽曲
10	ドラムの仕組みと演奏法について学ぶ	10	採譜した譜面を元に各パートの練習①
11	ドラムの演奏法を学び、実際に練習 ドラム練習①	11	採譜した譜面を元に各パートの練習②
12	ドラムの演奏法を学び、実際に練習 ドラム練習②	12	採譜した譜面を元に各パートの練習③
13	ドラムの演奏法を学び、実際に練習 ドラム練習③	13	アンサンブル①
14	キーボードの仕組みと演奏法について学ぶ	14	アンサンブル②
15	キーボードの演奏法を学び、実際に練習 キーボード練習①	15	アンサンブル③
16	キーボードの演奏法を学び、実際に練習 キーボード練習②	16	まとめ、1年間の楽曲演奏
17	キーボードの演奏法を学び、実際に練習 キーボード練習③	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	音楽理論	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	演奏に於けるリズムとは何を指すかを知り、リズムの奥深さを感じ、今後の演奏に活かす基礎作り				
授業概要					
教科書	あり	成績評価	取り組み姿勢、理解度、試験、出席率		
備考	五線ノート				
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	インターバルを使いコードを作る② +-5th系コード
2	音についての理解 ノート、楽音と楽譜、譜面についての基礎	2	dimlについての説明
3	譜面について 読み方と表記のしかた	3	度数の詳細の把握し完全なインターバルを理解⑤ VI
4	音符とリズムについての導入 拍、拍子とリズムの関係性の概念	4	インターバルを使いコードを作る② 6thコード
5	音楽概論の捕らえ方について 鍵盤楽器と弦楽器に於ける構造、奏法上の違い	5	T.D.SDの再説明とドミナントモーション
6	音楽、楽曲とスケールの関係性 キーとスケールの関係性の説明	6	キーチェンジとモーダルインターチェンジ
7	スケールの理解①-1 導入とホールトーン、クロマチックについての説明及び ダイアトニックコード	7	SDマイナーとDマイナーについての使い方
8	各メジャースケールの理解①-1 スケール読み取りと記譜、T.D.SDの説明	8	マイナースケール 3種のマイナースケールの習得
9	インターバルについての説明 度数の存在を理解する	9	9thのインターバルとコード
10	度数の詳細の把握し完全なインターバルを理解① III	10	ソルフェージュ① 導入:いい耳を持つ事の大切さ、コール&レスポンス
11	度数の詳細の把握し完全なインターバルを理解② V	11	ソルフェージュ② スケール内の音を聞き分ける
12	インターバルを使いコードを作る① メジャーコード	12	ソルフェージュ③ リズムを記憶する練習
13	インターバルを使いコードを作る② マイナーコード、再度ダイアトニックコードの説明	13	スコアライティング① リズム譜の書き方を習得する
14	度数の詳細の把握し完全なインターバルを理解③ VII	14	スコアライティング② シンコペーションとその記譜のしかた
15	インターバルを使いコードを作る② 7thコード	15	ソルフェージュ④ メロディー譜の制作
16	度数の詳細の把握し完全なインターバルを理解④ IVとsus4コード	16	後期まとめ試験
17	前期まとめ試験	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	音楽理論	学年	2年	単位数	2単位
授業目的	音楽を理解し演奏するための訓練。主に楽譜の読み書きやリズム、音程を正確に認識する力を養う				
授業概要					
教科書	あり	成績評価	取り組み姿勢、理解度、試験、出席率		
備考	五線ノート				
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期		
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	メロディー譜を書く② オリジナルのメロディーを譜面に起こす(1)	
2	コードの聞き取り① 低音部(Bass)の聞き取り	2	メロディー譜を書く② オリジナルのメロディーを譜面に起こす(2)	
3	コードの聞き取り② 2声聞き取り、Bsまたはルート+1声	3	モードスケール② モードの成り立ち、考え方とアイオニアン、エオリアン	
4	コードの聞き取り② 2声、3声聞き取り	4	モードスケール② ドリアン	
5	コード進行コピー	5	モードスケール② フリジアン	
6	メロディー譜制作② ヴォーカルメロディー譜の制作(1)	6	モードスケール② リディアン	
7	メロディー譜制作② ヴォーカルメロディー譜の制作(2)	7	モードスケール② ミクソリディアン	
8	テンションノート 11th,13th,等の理解	8	モードスケール② ロクリアン	
9	コードまとめ、問題	9	その他スケール ホールトーン、オルタード他	
10	セカンダリードミナント及びセカンダリードミナントモーションについて① 定義を知る	10	各スケールまとめ メジャー、各マイナー、各モードおさらい	
11	セカンダリードミナント及びセカンダリードミナントモーションについて② セカンダリードミナントの使用例	11	コード聞き取り② コード制作と聞き取り、譜面作成(1)	
12	学生から学生へ問一答① 問題提出～解答～解説まで	12	コード聞き取り② コード制作と聞き取り、譜面作成(2)	
13	学生から学生へ問一答② 問題提出～解答～解説まで	13	管楽器の音楽概論 管楽器のキーと譜面の捉え方について	木
14	キーと臨時記号に関することのまとめ①	14	管楽器の音楽概論 管楽器のキーと譜面の捉え方について	金
15	キーと臨時記号に関することのまとめ②	15	後期試験	
16	前期試験	16	解答と解説、2年間まとめ	
17	解答と解説、2年前期まとめ	17	—	
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります				

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	音楽編集	学年	1年	単位数	4単位
授業目的	スタジオに於ける作業の流れを知り機材を使う基礎知識を習得する				
授業概要	スタジオ内でレコーディングと音楽制作のアプリケーションを使用する				
教科書	あり	成績評価	取り組み姿勢、理解度、出席率		
備考	五線ノート				
担当教員	岡本 崇樹	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科卒業後、音響会社やWEB制作会社に勤めたのち、会社を設立。 音響オペレート・レコーディング業務を始めアーティストプロモーションやイベントライブ企画・映像音楽制作・WEB制作・建築などクリエイティブな分野で活躍中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容と目的、注意事項	1	シーケンスデータの他アプリケーションでミックスダウン 音源の差し替え アプリケーションの音源を使う 他
2	スタジオ内での録音等作業の流れについて 各機材の用途の説明	2	音源の差し替え 源のプリセットデータの調整 音
3	プロツールズを使い録音のシステムについて アナログ信号の流れ方とデジタル機材内部の説明	3	音源の配信についての知識 配信アプリと配信方法など
4	シーケンサーの音を聞く シーケンスソフトで制作した音源をスピーカーから出す オペレーション	4	音源の配信についての知識 スマホ等で音を聞いてみる
5	マイク、外部入力の説明 録音で使うマイク他外部入力についての操作方法の説明	5	音源の配信についての知識 権利などの知識
6	プロツールズを使いマイクの音を録音① 音の立ち上げと調整	6	パンポット 各楽器におけるパンポットの設定
7	プロツールズを使いマイクの音を録音② マイキングの実習	7	音量バランス 最適な音量またはバランスとは？
8	学生の演奏の録音①	8	楽器のマイキング Gt、Bs
9	学生の演奏の録音②	9	楽器のマイキング Dr
10	ミックスダウン、トラックダウン その必要性和実際	10	学生の演奏の録音③
11	ダイナミクス コンプレッサーについての説明と実習	11	学生の演奏の録音④
12	音質調整 音の成分、周波数、イコライジングについて	12	ミックスダウン① 全員または個人で
13	外部出力について FXチャンネル、AUXなど用途、デジタルとアナログの実際	13	ミックスダウン② 全員または個人で
14	リバーブを使用する ボーカルトラックにリバーブを使用する実習	14	plug-in EFFECTの説明 plug-inの説明と種類、メーカーについて
15	ミックスダウン実習① 各トラックの録音ファイルをミックスダウンする実習	15	plug-inダイナミクス系
16	ミックスダウン実習② 各トラックの録音ファイルをミックスダウンする実習	16	plug-in空間系、フィルター系
17	様々なアプリケーション 録音、編集、制作などのアプリケーションを知る	17	—
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名	マネジメントアンドプロデュース	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	人に伝える方法とマネジメントの仕方について学ぶ				
授業概要	楽曲を演奏する事だけではなく音以外で人に伝える方法やマネジメントする側の立場を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	桑尾 哲郎	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 バンド「TRASH AUDIO」にてJOIN ALIVE2014に出演。その後、「夢チカレコード」に所属し、ミニアルバム「One Of The Timeless」を全国発売。現在はロックバンド「CPRNX」「hakua.」のギタリストとして活動中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション 授業内容の説明。	1	人に伝える② マインドセット 人に伝わる方法と自己成長のマインドを学ぶ。
2	目標設定について 業界就職に向けて、どのようなスキルが必要になるか、 現状の課題を洗い出し、夢に向けた目標を再設定。	2	WEBマガジン運営⑧ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
3	WEBマガジン運営① WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	3	インタビュー② 人の魅力の引き出し方、会話の引き出し方を学 ぶ。
4	ライティング WEBマガジンコンテンツのライタースキルを向上させる ためライティングを学ぶ。	4	WEBマガジン運営⑨ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
5	マインドセット 経験や先入観から形成される試行や思い込みを取り払 う。	5	集客 様々なイベントへの集客方法を学ぶ
6	WEBマガジン運営② WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	6	WEBマガジン運営⑩ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
7	イベント企画 イベントの企画。人に印象に残るイベントを理解し、自 ら考えるようになる。	7	アーティストマネジメント③ アーティストマネジメントの基礎のまとめ
8	WEBマガジン運営③ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	8	コミュニケーション/目標達成① コミュニケーション能力を高め、目標達成に必要な考え 方を学ぶ
9	アイデアの生み出し方 アイデアを生み出す方法と生かし方を学ぶ	9	WEBマガジン運営⑪ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
10	WEBマガジン運営④ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	10	イベント企画の立案 イベント企画を様々な角度から考えられるようにする。
11	人に伝える① 表現方法を変えて、人に伝える方法を学ぶ	11	WEBマガジン運営⑫ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
12	WEBマガジン運営⑤ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	12	企画力向上の7つのポイント 宿題である企画を発表。イベント企画の発表と今まで のおさらいと企画力向上のポイントを伝える。
13	アーティストマネジメント① アーティストマネジメントの基礎	13	WEBマガジン運営⑬ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
14	WEBマガジン運営⑥ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	14	コミュニケーション/目標達成② コミュニケーション能力を高め、目標達成に必要な考え 方を学ぶ
15	インタビュー① 人の魅力の引き出し方、会話の引き出し方を学ぶ。	15	WEBマガジン運営⑭ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作
16	WEBマガジン運営⑦ WEBマガジンのコンテンツの企画・制作	16	授業の振り返り、おさらい アーティストプロモーション総括
17	アーティストマネジメント② アーティストマネジメントの基礎のまとめ		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	楽曲研究	学年	2	単位数	2
授業目的	様々な時代やジャンルの楽曲を聞き、コピーすることで時代、ジャンル、楽曲に対しての理解を深める				
授業概要	様々な時代やジャンルの楽曲を聞き、コピーすることで時代、ジャンル、楽曲に対しての理解を深める				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	稲毛雄太	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	授業ガイダンス	1	④課題曲演奏 1970年代の楽曲
2	楽曲紹介 1920年代～1950年代	2	⑤課題曲演奏 1970年代の楽曲
3	①課題曲演奏 1950年代の楽曲	3	楽曲紹介 1980年代①
4	②課題曲演奏 1950年代の楽曲	4	楽曲紹介 1980年代②
5	③課題曲演奏 1950年代の楽曲	5	①課題曲演奏 1980年代の楽曲
6	④課題曲演奏 1950年代の楽曲	6	②課題曲演奏 1980年代の楽曲
7	楽曲紹介 1960年代	7	③課題曲演奏 1980年代の楽曲
8	①課題曲演奏 1960年代の楽曲	8	④課題曲演奏 1980年代の楽曲
9	②課題曲演奏 1960年代の楽曲	9	⑤課題曲演奏 1980年代の楽曲
10	③課題曲演奏 1960年代の楽曲	10	楽曲紹介 1990年代①
11	④課題曲演奏 1960年代の楽曲	11	楽曲紹介 1990年代②
12	⑤課題曲演奏 1960年代の楽曲	12	①課題曲演奏 1990年代の楽曲
13	楽曲紹介 1970年代①	13	②課題曲演奏 1990年代の楽曲
14	楽曲紹介 1970年代②	14	③課題曲演奏 1990年代の楽曲
15	①課題曲演奏 1970年代の楽曲	15	楽曲紹介 2000年代①
16	②課題曲演奏 1970年代の楽曲	16	楽曲紹介 2000年代②
17	③課題曲演奏 1970年代の楽曲		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名	JAM	学年	1	単位数	2
授業目的	インスト編成でのバンド演奏を通じ、フレージングやリズム、コミュニケーションについて学ぶ				
授業概要	JAMセッションの基礎の習得。				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	各自で楽器の用意。				
担当教員	斉藤 彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	授業の概要の説明。 セッションの基本とブルースについて説明	1	セッションの定番曲をコピー ジャズの楽曲をテーマに
2	①ブルースセッション	2	①ジャズ系の楽曲でセッション
3	②ブルースセッション	3	②ジャズ系の楽曲でセッション
4	③ブルースセッション	4	③ジャズ系の楽曲でセッション
5	④ブルースセッション	5	④ジャズ系の楽曲でセッション
6	セッション定番楽曲のコピー 8ビートをテーマに	6	セッションの定番曲をコピー 16ビートの楽曲をテーマに
7	①8ビートの楽曲でセッション	7	①16ビートの楽曲でセッション
8	②8ビートの楽曲でセッション	8	②16ビートの楽曲でセッション
9	③8ビートの楽曲でセッション	9	③16ビートの楽曲でセッション
10	④8ビートの楽曲でセッション	10	④16ビートの楽曲でセッション
11	⑤8ビートの楽曲でセッション	11	⑤16ビートの楽曲でセッション
12	セッション定番楽曲のコピー シャッフル(3連)をテーマに	12	セッション定番曲のコピー 歌物をテーマに
13	①シャッフルの楽曲でセッション	13	①歌物楽曲でセッション
14	②シャッフルの楽曲でセッション	14	②歌物楽曲でセッション
15	③シャッフルの楽曲でセッション	15	③歌物楽曲でセッション
16	④シャッフルの楽曲でセッション	16	④歌物楽曲でセッション
17	⑤シャッフルの楽曲でセッション		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名	セッション	学年	2	単位数	2
授業目的	レッスンや理論で得た技術をバックイングやソロなどに活用していく				
授業概要	課題曲のコピーや譜面の読譜。 毎回テーマを設けながらセッションを行う。				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	各自で楽器の用意。				
担当教員	斉藤 彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	授業の概要の説明。 昨年度の復習	1	課題曲でセッション ジャズスタンダード 課題曲の採譜と読譜
2	①ブルースセッション ターンアラウンドやエンディングの作り方	2	①ジャズスタンダードでセッション
3	②ブルースセッション 様々なキーやリズムでセッション	3	②ジャズスタンダードでセッション
4	①フリーセッション 自分たちでキーやリズム、構成を作る	4	③ジャズスタンダードでセッション
5	②フリーセッション 自分たちでキーやリズム、構成を作る	5	④ジャズスタンダードでセッション
6	課題曲でセッション 16ビートの楽曲 課題曲の採譜	6	⑤ジャズスタンダードでセッション
7	①16ビートの楽曲でセッション	7	課題曲でセッション シャッフルビートの楽曲 課題曲の採譜
8	②16ビートの楽曲でセッション	8	①シャッフルビートの楽曲でセッション
9	③16ビートの楽曲でセッション	9	②シャッフルビートの楽曲でセッション
10	④16ビートの楽曲でセッション	10	③シャッフルビートの楽曲でセッション
11	⑤16ビートの楽曲でセッション	11	④シャッフルビートの楽曲でセッション
12	課題曲でセッション 歌物の楽曲 課題曲の採譜と読譜	12	⑤シャッフルビートの楽曲でセッション
13	①歌物の楽曲でセッション	13	課題曲でセッション セッションの定番曲 課題曲の採譜と読譜
14	②歌物の楽曲でセッション	14	①定番曲でのセッション
15	③歌物の楽曲でセッション	15	②定番曲でのセッション
16	④歌物の楽曲でセッション	16	③定番曲でのセッション
17	⑤歌物の楽曲でセッション		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	ローディー&テクニック	学年	1	単位数	2
授業目的	楽器の基礎知識や演奏方法、楽器関係の周辺機器の使用法を学ぶ				
授業概要	楽器の扱い方や楽器に関係する機材の使用法の習得 ローディーに必要な音楽知識の習得				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	動きやすい服装、メモをとる、返事を必ず。				
担当教員	斉藤 彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	授業説明 ローディーの仕事の紹介 必要な知識のことなど。	1	エフェクターについて① 楽器用コンパクトエフェクターの紹介。 種類や効果の確認。使用理由の紹介。
2	ドラムについて① ドラムの構造。各パーツの説明。 名称の確認。	2	エフェクターについて② 実際のセッティング例の紹介。 トラブルシューティングの練習...よくあるトラブルを 再現。追加
3	ドラムについて② ドラムの組み立て方や説明。 セッティングの種類や使い方の紹介。	3	アンプの応用 センド・リターン機能の説明。 実際のセッティング例の紹介。
4	ドラムについて③ 特殊なセッティングの紹介と実践	4	楽器の基礎知識① ギターやベースなどの構造の確認。名称の説明。
5	ドラムについて④ 少人数でのドラムセッティングの実践①	5	楽器の基礎知識② ギターとベースのチューニング
6	ドラムについて⑤ 少人数でのドラムセッティングの実践②	6	楽器の基礎知識③ オクターブチューニングについて。 通常のチューニングとの違いについて。
7	楽器用アンプについて① アンプの種類の紹介。 例：ギターアンプやベースアンプなど。	7	楽器の基礎知識④ 楽器のコンディションとセッティングによるプレ イアビリティの説明。
8	楽器用アンプについて② アンプの詳細についての紹介。 スタックやコンボ、ワット数やオームの確認。	8	楽器の基礎知識⑤ ネックの反りについての確認。症状と調整方法の紹介。 それらの実践。
9	楽器用アンプについて③ ギターアンプから音を出す方法の確認。 メーカーや種類についての紹介。	9	復習 楽器、アンプ、エフェクターの知識確認のために トラブルシューティングの練習。
10	楽器用アンプについて④ 1人づつギターアンプから音を出せるようにする。 各つまみの紹介や効果の確認。	10	ケーブル作成① ケーブルの種類についての紹介。 標準フォンのケーブル作成、はんだこての使用法。
11	楽器用アンプについて⑤ ベースアンプから音を出す方法の確認。 メーカーや種類についての紹介。	11	ケーブル作成② ケーブルの種類についての紹介。 標準フォンのケーブル作成。
12	楽器用アンプについて⑥ 1人づつギターアンプから音を出せるようにする。 各つまみの紹介や効果の確認。	12	ケーブル作成③ キャノンプラグ（マイクケーブル）の作成。
13	楽器用アンプについて⑦ キーボードアンプから音を出す方法の確認。 メーカーや種類についての紹介。	13	ケーブル作成④ キャノンプラグ（マイクケーブル）の作成のつづ き。
14	楽器用アンプについて⑧ 1人づつキーボードアンプから音を出せるようにする。 各つまみの紹介や効果の確認。	14	ケーブル作成⑤ 標準フォンからキャノンへの変換ケーブル作成。
15	前期の復習① 前期に学んだドラム、アンプの知識を使い実際に セットを組む。	15	ケーブル作成⑥ 標準フォンからキャノンへの変換ケーブル作成の 続き。
16	前期の復習② バンドセットのバリエーション紹介。 少人数でのセッティングと音出し。	16	授業の振り返り。
17	前期の復習③ 前期授業の振り返り。		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	選択副科レッスン	学年	1	単位数	2
授業目的	演奏や作曲に必要な技術と知識の習得				
授業概要	楽器の構え方から始め、基礎トレーニングや楽曲演奏などを行う				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	斉藤 彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベーシストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	授業ガイダンス	1	①指弾きのフォーム確認
2	ベースの構え方について	2	②指弾きのフォーム確認
3	右手と左手のフォームについて	3	①ピック弾きのフォーム確認
4	①基礎運指とリズムトレーニング	4	②ピック弾きのフォーム確認
5	②基礎運指とリズムトレーニング	5	①スラップ奏法の習得
6	③基礎運指とリズムトレーニング	6	②スラップ奏法の習得
7	④基礎運指とリズムトレーニング	7	③スラップ奏法の習得
8	⑤基礎運指とリズムトレーニング	8	①課題曲演奏 8ビートの楽曲
9	スケールについて メジャースケールと運指	9	②課題曲演奏 8ビートの楽曲
10	スケールについて マイナースケールと運指	10	③課題曲演奏 8ビートの楽曲
11	スケールについて メジャーペンタトニックスケールと運指	11	④課題曲演奏 16ビートの楽曲
12	スケールについて マイナーペンタトニックスケールと運指	12	⑤課題曲演奏 16ビートの楽曲
13	①ブルースを使ったベースラインの作成	13	⑥課題曲演奏 16ビートの楽曲
14	②ブルースを使ったベースラインの作成	14	他の楽器とのセッションの準備
15	他の楽器とのセッションの準備	15	ドラムとのセッション
16	ドラムとのセッション	16	ギター、ドラム、ベースでセッション
17	ギター、ドラム、ベースでセッション		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度　ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム専攻　シラバス					
授業名	楽曲制作	学年	1	単位数	2
授業目的	楽曲制作の基礎作り				
授業概要	シーケンサーにより作曲、アレンジ制作				
教科書		成績評価			
備考					
担当教員	端　一仁	実務経験			
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	授業の説明、メロディーとはなにか	1	他人へ提供するメロディーの制作①
2	モチーフの練習	2	提供するメロディーの制作②
3	モチーフを使いメロディー制作	3	提供するメロディーのアレンジコンセプト
4	制作したモチーフの展開	4	メロディーのアレンジ、「リズムアレンジ」
5	簡単なコードとハーモナイズの基礎	5	メロディーのアレンジ「ハーモナイズ、リフ」
6	各自のメロディにハーモナイズしてみよう	6	歌う人の顔を浮かべてアレンジを考えよう
7	ダイアトニックコード、定義と実践	7	歌詞とメロディーの関係性について
8	ノンダイアトニックコードの聴き比べと実践	8	既存の歌詞でメロディー制作をしてみよう①
9	メロディにオンコードを付ける	9	既存の歌詞でメロディー制作をしてみよう②
10	オンコードとオンコードを使ったクリシェ	10	単語と言い回し、イントネーションと歌詞、メロディーの関係
11	4度進行の実践	11	制作済みのメロディーと歌詞について変更してみよう
12	よく使われるコード進行集①Ⅰ・Ⅳ・Ⅴ～	12	譜割、単語、メロディー、イントネーションの関係性
13	よく使われるコード進行集②それ以外	13	ハーモナイズまたはリハーモナイズ制作②
14	アカペラデータのハーモナイズ実習①	14	ハーモナイズまたはリハーモナイズ制作③
15	アカペラデータのハーモナイズ実習②	15	まとめ制作
16	ドラムについて、リズムパターン	16	楽曲の発表
17	ドラムレスの楽曲にドラムを制作する		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	作品制作	学年	1	単位数	2
授業目的	STUDIO ONEのオペレーションを知る。ファイルや編集など基礎的な知識を得る				
授業概要	楽曲制作をしながら編集などのオペレーションをする				
教科書	なし	成績評価	課題、出席率、取り組みの姿勢		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験			
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	授業の説明、スタジオワン起動	1	studio oneからcubaseへのデータ移行、またその逆
2	スタジオワンオペレーション 音を出してみる、音色の選択	2	MIDI規格について 16進数について考える
3	付属のソフトシンセの扱い方と音色について	3	MIDI規格について システムエクスクルーシブについての知識
4	ダイアトニックコードによる進行打ち込み ダイアトニックコードの説明とそのコード進行を打ち込む	4	MIDI規格について チェックサムの計算
5	制作したコードにメロディーを入れる	5	MIDI規格について コントロールデータについて
6	INPACTの呼び出しと使用方法 ドラム音源の使い方	6	MIDI規格について GM系、GSなどMIDI新旧規格について
7	音楽ファイルについての説明、mp-3.wav.aiff等	7	MIDIコマンドの利用と応用について① 編集画面の使い方
8	mp-3のレイトについて、SMFと応用 音楽ファイルとMIDIファイルの違いについて	8	MIDIコマンドの利用と応用について② 編集画面以外のコマンドについて
9	インポートとエクスポート スタジオワン以外のファイル形式でエクスポートし、スマホなどで聞いてみる	9	オーディオに関する各コマンド① 波形についての基礎知識
10	スタジオワンの機能 フレーズのコピー	10	オーディオに関する各コマンドと実習② 波形編集の基礎
11	スタジオワンの機能 クオンタイズの説明	11	インポートした楽曲のテンポ合わせ
12	スタジオワンの機能 ペロシティの調整	12	midiのレンダリングについて MIDIをオーディオにしてみる
13	スタジオワンの機能 デュレーションの編集	13	エフェクターの基礎
14	シーケンサーでの簡単なミキシングについて ミックスの画面の説明	14	EQ使用の実際についての実習 周波数帯域の把握
15	ハードウェアとソフトウェアについて 用語の理解	15	各自の楽曲のEQ及びダイナミクス系の処理 コンプレッサーとEQの使用
16	オーディオインターフェースの使い方、応用 PCの音を録音	16	1年間のまとめ
17	グーグル(ドライブ含め)とのリンク GOOGLE DRIVEの設定とデータの保存		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 全専攻 シラバス					
授業名	HR	学年	1	単位数	2
授業目的	学校よりの情報伝達、音楽業界全般を知る				
授業概要	伝達事項と業界の研究、就職やデビュー対策を中心に展開				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	筆記用具持参				
担当教員	斉藤 彰宏	実務経験	○		
実務内容	札幌ビジュアルアーツ音響学科を卒業後、スタジオスタッフとして勤務。 バンド活動と並行しアーティストのサポート等ベースリストとしても活動。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーションと学習案内(卒業の案件等)	1	伝達事項(学内行事など)、 後期の予定と学生がすべきこと
2	校内見学、求人票→1年後はどんな求人を受験できる のかを知る	2	伝達事項(学内行事など)、学校に来ている求人紹介 →1年後に備える。自己分析、自分のパーソナリティを 知る。
3	伝達事項、業界研究 音楽業界の仕組み(ミュージシャンとスタッフについて)	3	伝達事項(学校行事など) 業界研究 会社の基本とルール、組織など
4	伝達事項、業界研究 (音楽関連の職種、業種について①)	4	伝達事項(学校行事など) ビジネス上のコミュニケーションの大切さ
5	伝達事項、業界研究 (音楽関連の職種、業種について②、契約とデビューに ついて①)	5	伝達事項(学校行事など) 業界研究/言葉づかい、敬語、など
6	伝達事項、業界研究 (契約とデビューについて②)	6	伝達事項(学校行事など) 業界研究 文書、電子メールのマナー
7	伝達事項、業界研究 (作曲系の仕事について)	7	伝達事項(学校行事など) 定期ライブの準備など 業界研究
8	伝達事項(学内行事など)、夏休みまでの簡単なスケ ジュール確認。業界研究 夏フェス、イベントについて知る	8	伝達事項(学校行事など) 定期ライブの準備など 業界研究
9	伝達事項(学校行事など)、 業界研究→上半期を振り返る→ヒット曲。	9	伝達事項(学校行事など) 業界研究: 今年の音楽シーンの振り返り/ヒットチャ ート、コンサート動員などから今年の音楽シーンを振り返 る
10	伝達事項(学校行事など) 業界研究	10	伝達事項(学校行事など) 冬休み、進路のことを改めて考える。 目指す職種・勤務地を再度考えておく
11	伝達事項(学校行事など) 業界研究個人面談。	11	伝達事項(学校行事など) 進路研究 自分が働いてみたい、興味のある会社を考 える
12	伝達事項(学校行事など) 個人面談	12	伝達事項(学校行事など) 進路研究 自分が働いてみたい、興味のある会社を調 べてみる②
13	伝達事項(学校行事など) 業界研究、個人面談②	13	伝達事項(学校行事など) 自己分析①履歴書を書く際や面接時に話せるよう自己 分析
14	伝達事項(学校行事など) 業界研究 ライブイベント・ビジネスを概観する/ライブ イベントの基本的なしくみ、市場規模 など	14	伝達事項(学校行事など) 自己分析② 履歴書を書く際や面接時に話せるよう自己分析
15	伝達事項(学校行事など) 音楽ビジネスのしくみ①レコード・ビジネス、インター ネット、音楽ビジネスの現状 など	15	履歴書の書き方①
16	伝達事項(学校行事など) 音楽ビジネスのしくみ② 音楽ビジネスの職種 作詞家・作曲家・プロ デューサー など	16	履歴書の書き方②
17	伝達事項(学校行事など) 前期の振り返り		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 全専攻 シラバス					
授業名	HR	学年	2	単位数	2
授業目的	学校よりの情報伝達、社会に出るための準備				
授業概要	伝達事項と業界の研究、就職やデビュー対策を中心に展開				
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考	筆記用具持参				
担当教員	小松哲太郎	実務経験			
実務内容	専門学校札幌ビジュアルアーツの就職サポート部署であるキャリアセンターにて、学生指導を担当				

前 期		後 期	
1	新年度キャリアセンター担当者紹介・就活ルール説明、求人票紹介、進路希望アンケート記入、伝達事項、業界研究、など。	1	伝達事項、及びインターンシップについて
2	伝達事項、働きたい=受験してみたい企業を調べてリスト化し、提出。	2	求人紹介、求職カード記入、面接時良く出る質問に対する回答検討、同時にキャリアセンター担当者と面談。
3	求人紹介、求職カード記入の続き、各々の就職活動に同時にキャリアセンター担当者と面談。	3	求人紹介、求職カード記入の続き、各々の就職活動に同時にキャリアセンター担当者と面談①
4	求人紹介、求職カード記入の続き、各々の就職活動に同時にキャリアセンター担当者と面談。	4	求人紹介、求職カード記入の続き、各々の就職活動に同時にキャリアセンター担当者と面談②
5	ミュージシャン系 学外活動のしかた	5	求人紹介、求職カード記入の続き、各々の就職活動に同時にキャリアセンター担当者と面談③
6	伝達事項、就職、オーディション対策 履歴書、プロフィールの記入の仕方と添削①	6	求人紹介、 ビュー対策/札幌市内ライブハウスの紹介 デ
7	伝達事項、オーディション就職対策 履歴書のプロフィール記入の仕方と添削②	7	求人紹介、 ビュー対策/アーティストによる企画ライブについて① デ
8	校内企業説明会 伝達事項、など	8	求人紹介、 ビュー対策/アーティストによる企画ライブについて② デ
9	伝達事項、就職対策 就活に備え、履歴書の説明、学外活動のしかた	9	求人紹介、 ビュー対策/オーディションに向く楽曲とは① デ
10	伝達事項、就職対策 面接練習①	10	求人紹介、 ビュー対策/オーディションに向く楽曲とは② デ
11	伝達事項、就職対策 面接練習②	11	卒業後をイメージしてみよう 就職後チャレンジしてみたいことなど
12	伝達事項、就職対策 面接練習③	12	人前で話してみよう テーマを決めて伝えるように話す①
13	施設見学 ステージ、照明ルーム、PAルーム などを見学	13	人前で話してみよう テーマを決めて伝えるように話す②
14	校内企業説明会 伝達事項、など	14	人前で話してみよう テーマを決めて伝えるように話す③
15	伝達事項、求人紹介、就職個別面談①	15	2年間を振り返り感想を書く
16	伝達事項、求人紹介、就職個別面談②	16	2年間まとめ
17	伝達事項、求人紹介予備週		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度ヴォーカル、ギターベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名	楽曲制作	学年	2年	単位数	2
授業目的	楽曲制作において、さまざまなアイデアを取り入れることができるようになること				
授業概要	音楽概論の応用と機材の機能を取り入れて制作する				
教科書	なし	成績評価	取り組み、出席率、理解度		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	昨年のおさらいと今年度授業の説明	1	理論で勉強をしたコードでハーモナイズ③ SDマイナー
2	コントロールデータに知識とその作成	2	理論で勉強をしたコードでハーモナイズ④ Dマイナー
3	フレーズに合わせコントロールデータ	3	ドリアンを使用し、メロディーを制作する
4	編集:ピアノロールの使用と応用① デュレーションの設定でノリを変える	4	フリジアンを応用しエスニックな楽曲の制作
5	編集:ピアノロールの使用と応用② ペロシティの設定とグルーヴ感	5	ミクソリディアンで7thを上手に使ってみよう
6	楽曲の表現とデータの関係を知り、生の演奏にも生かせるようにする	6	モードを使い制作
7	ペロシティ設定の実習(ビート①) ドラムトラックを使い、ドラムの各ペロシティを調整しなおす	7	ループのオーディオサンプルとは？まずは聞いてみる
8	ペロシティ設定の実習(ビート②)ドラムトラックを使い、 パーカッションのインプットとペロシティの調整をする	8	ドラムサンプルを使って制作①
9	midi規格史デジタル化、KORG.ROLAND,YAMAHAなど各メーカーの製品を見る	9	ドラムサンプルを使って制作②
10	音色名とその由来、実際の楽器を知る ① 鍵盤楽器、弦楽器	10	オーディオのスライス
11	音色名とその由来、実際の楽器と奏法を知る ② 弦楽器、管楽器	11	コードとキーに合わせてオーディオをトランスポートして みる
12	音色名とその由来、実際の楽器と音色を知る ③ 打楽器	12	オーディオループを使って制作①
13	音色名とその由来、実際の楽器とその機種を知る ④ エレクトリック系	13	オーディオループを使って制作②
14	理論で勉強をしたコードでハーモナイズ① セカンダリードミナントを使ったハーモナイズ	14	簡単なミックス① ボーカルを中心としたバランス取り
15	理論で勉強をしたコードでハーモナイズ① セカンダリードミナントとその応用	15	簡単なミックス① 各エフェクト
16	理論で勉強をしたコードでハーモナイズ② モーダルインターチェンジ	16	1年間まとめ
17	作品制作		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	ミックスダウン	学年	2年	単位数	2
授業目的	シーケンスアプリケーションでの楽曲トラックのミックスに特化した授業				
授業概要	STUDIO ONEおよびPLUG-INを使用し知識の習得と実習				
教科書		成績評価	課題、出席、取り組み		
備考					
担当教員	平井 隆寛	実務経験	○		
実務内容	PAエンジニア、オペレーターとしてメジャー・インディーズ問わず数多くのアーティストの現場を担当。現在は音楽制作チームSound Ravelにコンポーザーとして所属。オリジナル作品を多く発表するほか、CM音楽、アイドルソング、BGM、ソロシンガー等へ幅広い楽曲を提供、発表している。				

前 期		後 期	
1	DAW、DTMをなぜ学ぶのか	1	サンプラー①Sample Oneの使用についてサンプラーの機材を知る
2	DAWソフトウェアの基本操作 I/F、オーディオ、ソングの新規作成について	2	サンプラー①Sample Oneで制作した音源や波形を使い楽曲に使用してみる
3	DAWソフトウェアの基本操作 ピアノロールの操作	3	Inpactにドラムサンプルをインポートし、オリジナルのドラムキットを作成
4	DAWソフトウェアの基本操作 インストゥルメントの読み込み	4	Inpactに作成したドラムサンプルを使用し制作
5	基礎エディット①リズムの打ち込み	5	Mixの基礎①-1 I/Oについての知識、インプット、アウトプットについて
6	基礎エディット②ベース、コードと楽器の打ち込み	6	Mixの基礎①-2 マルチアウトとバスグループについて/グループ処理
7	基礎エディット③オーディオの録音について	7	Mixの基礎②-1 サイドチェインについて、その効果と用途の説明
8	基礎エディット④オーバーダビング、イベントの編集について	8	Mixの基礎②-2 サイドチェインについて、4つ打ちのキットトラック制作
9	基礎エディット⑤基本操作とエディットに関するまとめ	9	Mixの基礎③ オートメーションによるコントロール
10	サウンドメイキング①シンセサイザーでの音作り フィルターとエンベロープ	10	Mixの基礎④ リファレンス音源を用いたMIX調整/マルチトラックのソングデータでエクスポートする
11	サウンドメイキング②シンセをピアノロールで打ち込みする	11	MIDIについての知識 C/Cなどの知識を学ぶ
12	サウンドメイキング③オーディオ編集/タイムストレッチ	12	音楽の基本構成① 題材曲を聴き、楽器トラック編成、エフェクト処理等の学習をする
13	サウンドメイキング④まとめ	13	音楽の基本構成② 周波数帯域についての学習
14	エフェクター①空間系エフェクターについて ブリ、ポストについて	14	総合制作実習①
15	エフェクター②ダイナミクス系、EQとコンプレッサーについて	15	総合制作実習②
16	エフェクター③モジュレーション系、ゲート系、トレモロなどについて	16	1年間まとめ
17	エフェクター④アンプシュミレーター、ドライ/ウェットなどについて		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度　ミュージッククリエイター専攻　シラバス					
授業名	楽曲制作	学年	2	単位数	4
授業目的	世界の音楽を知りさまざまなスタイルに対応した楽曲制作ができる				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	課題、取り込み、出席率		
備考					
担当教員	端　一仁	実務経験			
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	授業の説明、1920年代北米の音楽シーン	1	サンバ、ルンバなどのラテン音楽
2	エレキギターの登場とブルース	2	サンバ制作①ビートとリズムのとり方
3	ブルース楽曲の制作	3	サンバ制作②パーカッションについて
4	ラグタイムの音楽とダンスミュージック	4	スカの音楽とレゲエ
5	ラグタイム制作①	5	スカ制作①
6	ラグタイム制作②	6	スカ制作②イントロを制作
7	カントリーミュージック発祥の背景/ケルト、ブルーグラスについて	7	番外編、スカコアについて
8	カントリー他制作実習①	8	スイング、4ビートのリズムの取り方、6thコードについて触れる
9	カントリー他制作実習②	9	トリオのでテーマ制作①
10	カントリー制作②	10	トリオの制作②
11	中南米の音楽について	11	オーケストラの楽曲について
12	レゲエの発展とボブマーリー	12	管弦楽法と和声および対位法①オーケストラの楽器と音色
13	レゲエのリズムと制作①	13	管弦楽法と和声および対位法①コード進行と和声について
14	レゲエ制作②	14	管弦楽法と和声および対位法①モノフォニーとポリフォニー、対位法の概要
15	ボサ・ノヴァのリズムアレンジの特徴	15	オーケストラ制作①
16	ボサ・ノヴァ制作①	16	オーケストラ制作②
17	ボサ・ノヴァ制作②		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス					
授業名	作品制作	学年	1	単位数	2
授業目的	STUDIO ONEのオペレーションを知る。ファイルや編集など基礎的な知識を得る				
授業概要	楽曲制作をしながら編集などのオペレーションをする				
教科書	なし	成績評価	課題、出席率、取り組みの姿勢		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	授業の説明、スタジオワン起動	1	studio oneからcubaseへのデータ移行、またその逆
2	スタジオワンオペレーション 音を出してみる、音色の選択	2	MIDI規格について 16進数について考える
3	付属のソフトシンセの扱い方と音色について	3	MIDI規格について システムエクスクルーシブについての知識
4	ダイアトニックコードによる進行打ち込み ダイアトニックコードの説明とそのコード進行を打ち込む	4	MIDI規格について チェックサムの計算
5	制作したコードにメロディーを入れる	5	MIDI規格について コントロールデータについて
6	INPACTの呼び出しと使用方法 ドラム音源の使い方	6	MIDI規格について GM系、GSなどMIDI新旧規格について
7	音楽ファイルについての説明、mp-3.wav.aiff等	7	MIDIコマンドの利用と応用について① 編集画面の使い方
8	mp-3のレイトについて、SMFと応用 音楽ファイルとMIDIファイルの違いについて	8	MIDIコマンドの利用と応用について② 編集画面以外のコマンドについて
9	インポートとエクスポート スタジオワン以外のファイル形式でエクスポートし、スマホなどで聞いている	9	オーディオに関する各コマンド① 波形についての基礎知識
10	スタジオワンの機能 フレーズのコピー	10	オーディオに関する各コマンドと実習② 波形編集の基礎
11	スタジオワンの機能 クオンタイズの説明	11	インポートした楽曲のテンポ合わせ
12	スタジオワンの機能 ペロシティの調整	12	midiのレンダリングについて MIDIをオーディオにしてみる
13	スタジオワンの機能 デュレーションの編集	13	エフェクターの基礎
14	シーケンサーでの簡単なミキシングについて ミックスの画面の説明	14	EQ使用の実践についての実習 周波数帯域の把握
15	ハードウェアとソフトウェアについて 用語の理解	15	各自の楽曲のEQ及びダイナミクス系の処理 コンプレッサーとEQの使用
16	オーディオインターフェースの使い方、応用 PCの音を録音	16	自由制作及び提出
17	グーグル(ドライブ含め)とのリンク GOOGLE DRIVEの設定とデータの保存		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター、MV専攻 シラバス					
授業名	作品制作	学年	1	単位数	2
授業目的	STUDIO ONEのオペレーションを知る。ファイルや編集など基礎的な知識を得る				
授業概要	楽曲制作をしながら編集などのオペレーションをする				
教科書	なし	成績評価	課題、出席率、取り組みの姿勢		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	スタジオワン起動後、初期設定と楽曲が打ち込める仕組みについて	1	SMFへのデータのエクスポート、及びインポート
2	スタジオワンオペレーション 各音源の説明	2	MIDI規格について 16進数について考える
3	付属のソフトシンセの扱い方と音色について②	3	MIDI規格について システムエクスクルーシブについての知識
4	ダイアトニックコードによる進行打ち込み ダイアトニックコードの説明とそのコード進行を打ち込む	4	MIDI規格について チェックサムの計算
5	制作したコードにメロディーを入れる	5	MIDI規格について コントロールデータについて
6	INPACTの呼び出しと使用方法 ドラム音源の使い方	6	MIDI規格について GM系、GSなどMIDI新旧規格について
7	音楽ファイルについての説明、mp-3.wav.aiff等	7	MIDIコマンドの利用と応用について① 編集画面の使い方
8	mp-3のレイトについて、SMFと応用 音楽ファイルとMIDIファイルの違いについて	8	MIDIコマンドの利用と応用について② 編集画面以外のコマンドについて
9	インポートとエクスポート スタジオワン以外のファイル形式でエクスポートし、スマホなどで聞いてみる	9	オーディオに関する各コマンド① 波形についての基礎知識
10	スタジオワンの機能 フレーズのコピー	10	オーディオに関する各コマンドと実習② 波形編集の基礎
11	スタジオワンの機能 クオンタイズの説明	11	インポートした楽曲のテンポ合わせ
12	スタジオワンの機能 ペロシティの調整	12	midiのレンダリングについて MIDIをオーディオにしてみる
13	スタジオワンの機能 デュレーションの編集	13	エフェクターの基礎
14	シーケンサーでの簡単なミキシングについて ミックスの画面の説明	14	EQ使用の実際についての実習 周波数帯域の把握
15	ハードウェアとソフトウェアについて 用語の理解	15	各自の楽曲のEQ及びダイナミクス系の処理 コンプレッサーとEQの使用
16	オーディオインターフェースの使い方、応用 PCの音を録音	16	1年間のまとめ
17	グーグル(ドライブ含め)とのリンク GOOGLE DRIVEの設定とデータの保存		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム専攻 シラバス					
授業名		学年	1	単位数	2
授業目的	DAWをとりまく新しいテクノロジーを使用した演奏形態に触れ対応力をつける				
授業概要	DAWアプリケーションとバンド形式の編成で企画、録音からMIXまで、作品のアイデアを出し合い音に反映させる				
教科書	なし	成績評価	課題、取り込み、出席率		
備考					
担当教員	稲毛 雄太		実務経験	○	
実務内容	札幌ビジュアルアーツ 音響学科卒業。 様々なジャンルにおいて数多くのアーティストのライブサポート、レコーディングに参加。自身のギタースクールを主宰する傍ら、複数の音楽教室に従事。インストバンド「SUPER GHETTI」のギタリストとしても活動中。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション この授業の目的、DAWについて、現場ではどう使われているかなどを説明	1	PAD、SEQUENCE PATTERNとクリックに合わせることの説明
2	DAWおよびデジタル機器についての知識 シーケンスアプリケーションやPlug-inとは？	2	既成楽曲にPADやSEQUENCE PATTERNをプログラムしたものに合わせて演奏をする①
3	Voを録りDAWを使用する I/Oの仕組みと前後信号の流れ、micセッティング	3	既成楽曲にPADやSEQUENCE PATTERNをプログラムしたものに合わせて演奏をする②
4	DAW操作方法 Vo録りをしながら基本操作を覚える、Voの学生は歌い、楽器の学生はオペレーションをする	4	同期音源のパラメーターを操作する カットオフフィルター、レゾナンスの関係について知る
5	楽器を録るためにバンド形式でセッション練習	5	Plug-in Effectorを使う① ダイナミクス、EQ、空間系の使用前、使用後
6	楽器を録るためにバンド形式でセッション練習	6	Plug-in Effectorを使う② モジュレーション系、ディレイの使用前、使用後
7	楽器のマイキングの説明と実習 ギター、ベースアンプの説明とMIC、LINE録り、Voの学生がオペレーションをする	7	録音実習 学生同士で楽曲決め、練習②-①
8	ギター、ベースをDAWで録音する MICとLINEの違い、インターフェース、hi-zについて説明し、MICとLINEの聞き比べをする	8	録音実習 生同士で練習②-②
9	ドラムの部品、セッティング ドラムセットの各部品を知りゼロの状態からセッティングをする。ドラムの学生は皆に指示をする。	9	録音実習 生同士で録音の練習②-③
10	ドラムのマイキング基礎 マイクの本数による位置の違いを知り、セットする実習	10	録音実習 生同士で録音の練習②-④
11	前週のおさらいと録音	11	予備日
12	全体の一発録り ブースを複数使って録る	12	ミックスダウンの実践 バランス取り、CompやEQなどPlug-in使用を実践
13	録音実習 学生同士で録音の実習①	13	ミックスダウンの実践 バランス取り、CompやEQなどPlug-in使用を実践②
14	録音実習 学生同士で録音の実習②	14	オーディオデータの編集 編集によって何ができるのか？ 波形でブレイクを作る等の実習
15	打ち込み音源と一緒に DTM系教室で予め打ち込んだものを使い同期で演奏する①	15	サイドチェーンの基礎
16	打ち込み音源と一緒に DTM系教室で予め打ち込んだものを使い同期で演奏する②	16	1年間のおさらいとDAWとバンドのこれからの可能性についてディスカッション
17	前期振り返り、予備日		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 ミュージッククリエイター専攻 シラバス						
授業名	DTM		学年	2年	単位数	2
授業目的	楽曲制作に必要なスケール、コードを基本に新たにチャーチモードなど取り入れクオリティの向上を目指す					
授業概要						
教科書	なし		成績評価	学習態度、課題提出、出席率		
備考						
担当教員	端 一仁		実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。					

前 期		後 期	
1	ガイダンス、StudioOneの1年次チェック	1	Key Fmajorの曲にどうしてコードEbが出てきてカッコ良いのか？ブルースからチャーチモードでのモード変換を学習する
2	「ブンブンブン」、Tonicとドミナントモーションのセンスをみる	2	ブルースからチャーチモードでのモード変換を学習する 第二回
3	「Happy Bitrthday」、3コード I と IV と V のセンスをみる	3	ミクソリディアの ♭7 についての研究をする
4	Major Scale、3コードの第二回。I と IV と V のセンスをみる	4	ミクソリディアのダイアトニックコードと終止形のパターンを学習し、ミクソリディアの曲を実際に作ってみる 第一回
5	「団子3兄弟」でマイナーKeyの学習をする	5	ミクソリディアのダイアトニックコードと終止形のパターンを学習し、ミクソリディアの曲を実際に作ってみる 第二回
6	マイナーのお勉強の2回目。今回はハモニーマイナーとメロディックマイナーを学ぶ	6	Majorの曲にどうしてコード4mが出てきてカッコ良いのか？ブルースが発見される以前のモーダル・チェンジ、サブドミナントマイナー・コード
7	「Fly Me To The Moon」で四度進行の学習をする 第一回	7	ブルースが発見される以前のモーダル・チェンジ、サブドミナントマイナー・コードを再度確認する 第二回
8	自由課題制作、夏休みまで約一月、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第一回	8	サブドミナント・マイナー等、ノン・ダイアトニック・コードを使い、作曲を実際にしてみる
9	自由課題制作、夏休みまで約一月、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第二回	9	自由課題制作、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第一回
10	自由課題制作、夏休みまで約一月、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第三回	10	自由課題制作、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第二回
11	メジャーでもマイナーでもなく、現在のポップスに大きな影響を与えているブルースの基本を学ぶ 第一回	11	自由課題制作、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第三回
12	メジャーでもマイナーでもなく、現在のポップスに大きな影響を与えているブルースの基本を学ぶ 第二回	12	各チャーチモードに沿ってメロディーを制作をしてハーモナイズする 第一回
13	基本的なブルースからⅡm-V型か、マイナーブルースの基本形を学習する	13	各チャーチモードに沿ってメロディーを制作をしてハーモナイズする 第二回
14	ビートルズの代表曲から、最近のドミナントコード、IV/VとかⅡm/Vのコードを学ぶ。これ以降は難しい曲なので二週以上に分けて行う	14	自由課題制作、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第一回
15	ビートルズの代表曲から、最近のドミナントコード、IV/VとかⅡm/Vのコードを学ぶ 第二回	15	自由課題制作、各学生にテーマを決めさせて自由課題制作を始める 第二回
16	「Hey Judo」から、分数コードとモード変換を学ぶ 第一回	16	1年間まとめ、今後の制作活動についてディスカッション
17	「Hey Judo」から、分数コードとモード変換を学ぶ 第二回		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2025年度 PA&照明、PA&レコーディングエンジニア専攻 シラバス					
授業名	音楽基礎知識	学年	1年	単位数	2単位
授業目的	さまざまな楽曲を知り、その成り立ちやその構造の基礎を知る				
授業概要					
教科書	なし	成績評価	授業中の取り組む姿勢、理解度と出席率		
備考					
担当教員	端 一仁	実務経験	○		
実務内容	音楽大学在学中よりアレンジャーとして、数々の作品を手掛ける。同時に、ホーンセクションプレイヤーとして演奏活動も行う。作曲活動として、CMやイベント、楽曲提供などその範囲は広い。				

前 期		後 期	
1	オリエンテーション この時間の授業内容と、スタッフ系専攻になぜ音楽を知る必要があるのかを説明	1	実習の予備知識 ループやオーディオについての説明と使い方
2	音と音楽、楽曲の説明	2	実習の予備知識 ループのkey調整
3	楽曲とスケールの関係性を知る 今昔の楽曲をスケールに当てはめて聞く	3	実習④ バンド楽曲を用い楽曲を制作
4	楽曲を用いて実際に打ち込んでみる Studio Oneの使い方説明 起ち上げから音が出るまで	4	実習⑤ バンド楽曲を用い楽曲を制作
5	楽曲を用いて実際に打ち込んでみる Studio Oneの使い方説明 力方法の選択と練習	入 5	実習⑥ バンド楽曲を用い楽曲を制作
6	譜面についての知識 基本的な読み方の説明	6	実習⑦ バンド楽曲を用い楽曲を制作
7	実習① ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	7	予備日
8	実習② ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	8	直近の楽曲 ジャー系やネット上の楽曲の分析①
9	実習③ ピアノ楽曲を用い楽曲を制作	9	直近の楽曲 ジャー系やネット上の楽曲の分析①
10	予備日	10	楽曲の歴史を知る メジャー系の楽曲から遡りクラシック音楽まで辿る
11	制作した楽曲を用いて音価やリズムの説明	11	日本の音楽、他国の音楽 楽の知識や使用楽器などをネットを使用し説明
12	譜割りや拍子の知識 4/4とは何かを音価、リズムを用いて説明し、単純拍子を知る	12	日本の音楽、他国の音楽 エスニック楽曲など様々な国の楽曲をネットを使用し説明
13	アレンジの知識 メロディーから導くことの説明	13	現代に戻りボーカロイド曲とボーカロイドの使われ方
14	アレンジの知識 ピアノ、鍵盤楽器の特性	14	ボーカロイドの説明と実習①
15	アレンジの知識 ギター、ベース、弦楽器の特性	15	ボーカロイドの説明と実習②
16	アレンジの知識 ドラム、打楽器の特性	16	ボーカロイドの説明と実習③、今後活かせることのディスカッション
17	アレンジの知識 リズム楽器とリズムアレンジについての基本		
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			